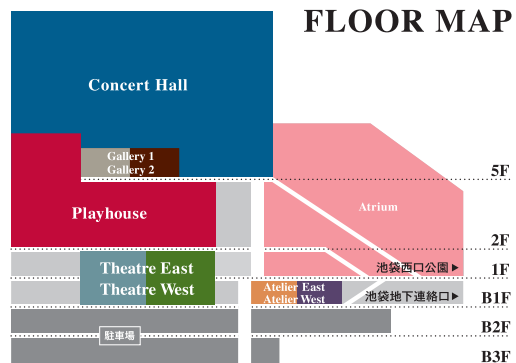
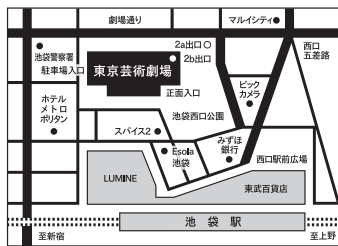


25th Anniversary
東京芸術劇場



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス
(チケット・総合案内カウンター)
| 予約 | **0570-010-296**
| お問合せ | (休館日を除く10:00~19:00)
5F 託児サービス だっこルーム
東京芸術劇場でご鑑賞のお客様の
お子様をお預かりします。(要予約)
| お問合せ | **03-3981-7003**
(平日10:00~17:00)
B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場
| 利用料金 | 300円/30分
| 営業時間 | 7:00~24:00
| お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
| 開館時間 | 9:00~22:00 (休館日を除く)
| お問合せ | **03-5391-2111**
JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

芸劇 BUZZ vol.13

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.13 2015
10.11.12.

T O K Y O
METROPOLITAN
THEATRE
25th
ANNIVERSARY

2015年10・11・12月号 (編集・発行)東京芸術劇場(公益財団法人東京劇歴史文化財団) (編集・デザイン)COM WORKS (印刷)株式会社秀堂

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。			
アサヒグループホールディングス株式会社 Bloomberg L.P. 西池袋熱供給株式会社 住友生命保険相互会社 株式会社資生堂 大和証券株式会社 明光義塾 ギョクマン株式会社 凸版印刷三幸会 レンゴー株式会社 東京地下鉄株式会社 立教大学 丸茂電機株式会社 トヨタ自動車株式会社	三精テクノロジーズ株式会社 株式会社松田平田設計 ホテルメトロポリタン 株式会社フジテレビジョン 株式会社WOWOW 東京臨海熱供給株式会社 ソニー銀行株式会社 キヤノン株式会社 ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社TBSテレビ 株式会社松村電機製作所 渡邊建設株式会社 香山壽夫建築研究所 HOTEL URBAN(ホテルアーバン) 国際興業株式会社	ミュージックスタジオ・フォルテ オルガノ株式会社 株式会社マクロスジャパン 東武鉄道株式会社 株式会社奥村組 サントリーホールディングス株式会社 養老乃瀧株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅 株式会社イープラス 読売新聞 東京本社 常盤興業株式会社 株式会社帝国ホテル 株式会社ルミネ 池袋店 株式会社ジェイアール東日本ビルディング 西武鉄道株式会社	ANAホールディングス株式会社 第一生命保険株式会社 フジテック株式会社 ぴあ株式会社 日本テレビ放送網株式会社 株式会社ローソンHMVエンタテイメント 株式会社テレビ朝日 株式会社エレベータシステムズ 三菱重工業株式会社 日本郵船株式会社

(2015年9月1日現在)

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。広報営業係担当まで直接お問合せください。Tel. 03-5391-2117

✦特集・PICKUP

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場
「ガリバー旅行記」「オディプス」

カントール生誕100年記念
「カントールと演劇の二十世紀」

Roots Vol.03
作 寺山修司 上演台本・演出 藤田貴大
「書を捨てよ町へ出よう」

寺山修司生誕80年 音楽劇
「レミング〜世界の涯まで連れてって〜」

芸劇eyes
てがみ座「地を渡る舟」

指揮・総監督 井上道義 演出 野田秀樹
モーツァルト/歌劇『フィガロの結婚』
〜庭師は見た!〜 新演出

〈海外オーケストラシリーズ〉

指揮 トッガン・ソビエフ
ベルリン・ドイツ交響楽団

指揮 グスターボ・ヒメノ
ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団

指揮 アンドレス・オロスコ=エストラダ
フランクフルト放送交響楽団

東京芸術劇場開館25周年記念コンサート
アーティストック・ディレクター 指揮 鈴木優人
ジョワ・ド・ヴィーヴル ー 生きる喜び

指揮 クリスティアン・バスケス
エル・システマ・フェスティバル 2015 in TOKYO
テレサ・カレニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ

ザ・フィルハーモニクス／前橋汀子 デイライト・コンサート／

第6回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル 2015／

パイプオルガンコンサート vol.20 ～聖夜に贈るクリスマス・オラトリオ～

紛争地域から生まれた演劇シリーズ7／

ストリートアーティスト・アカデミー／大道芸 ほか

フェスティバル/トーキョー15

✦CALENDAR

10月・11月・12月

東京芸術劇場 野田秀樹 対談 彫刻家 名和晃平

平成27年9月25日発行



変幻自在のブルカレーテ・マジック再び。

2年前『ルル』で衝撃を与えたルーマニアの鬼オブルカレーテの新作2本連続上演が実現!

「匂い立つような舞台」。当劇場の野田秀樹芸術監督は、ルーマニア演劇界の鬼オブルカレーテの演出作品の印象を、そう評したことがある。2013年『ルル』の来日公演で、本能の赴くままに生をむさぼる魔性の女ルル(オフエリア・ポビ)が躍動し、生々しいほどリアルで過激な空間が出現したことを思い出すと、あれはまさに、生みなぎる「匂い立つ」舞台だったかと納得できる。さらに、ブルカレーテの演出には、作品ごとにまったく異なるアプローチを行う、という特質もある。今回は最新の2作品が連続上演されるので、その多様性に富むダイナミックな演出ぶりを、しっかり目にとめることができるはずだ。

人間の醜さのショーケース『ガリバー旅行記』

『ガリバー旅行記』は、エディンバラ国際フェスティバルの依頼を受け2012年に初演された、イマジネーション溢れる詩的な作品。美しい馬の登場とともに、おなじみの小人(第一篇)や大人(第二篇)ではなく、第四篇のフウィナム(馬の国)への航海第11章を作者のスイフト(=ガリバー)が読み出すと、気高く礼儀正しいフウィナム(馬)と共生する、野蛮極まりないヤフー(人間)の生態らしきものが、次々と戯画的に描かれる。出産した女性たちが新生児を売り渡し、その新生児がコックによって殺害、臓器を調理されてフウィナムに供されたり、同じロングコートとアタッシュケース姿の集団が現れ、統制の取れた画一的な行動に終始していたかと思うと、つかみ合いを始めて本性を露わにしたり……。シルエットや人形を使って大人や小人を彷彿させる場面もあるけれど、多くはスイフトの他の著作(エッセイや詩)を引用しながら展開する、悪夢のような人間の醜さのショーケースだ。『ガリバー旅行記』本編が、風

10月15日(木)～23日(金) プレイハウス

演出:シルヴィウ・ブルカレーテ

「ガリバー旅行記」

“ジョナサン・スイフト作「ガリバー旅行記」による”

出演:オフエリア・ポビ ほか 総勢18名

「オイディプス」

“ソポクレス作「オイディプス王」「コロノスのオイディプス」による”

出演:コンスタンティン・キリアック オフェリア・ポビ ほか 総勢14名

刺を超えた人間への憎悪で終わることを思えば、ブルカレーテは、スイフトの真意を、見事にビジュアル化してみせている、と言っていいのかもしれない。

凄絶な宿命を背負う男の一生『オイディプス』

2014年初演の『オイディプス』は、ソポクレス作『オイディプス王』とその後日譚『コロノスのオイディプス』を合体し、「父を殺し母と交わる」宿命を背負った男の、壮絶な生涯を一気に見せる意欲作だ。オイディプスが、自ら両目をつぶした後コロノスにたどり着き、娘のアンティゴネとイスメネに介護される晩年から始まり、母とは知らずにイオカステと結婚してテーバイの国王となり、不吉な神託を受ける壮年時代へと遡ってゆく。このオイディプス夫妻の日常生活には、泥だらけのミイラのような、不気味な存在がつかまとう。疫病を可視化し、不穏さを増幅させる、ブルカレーテらしい大胆な演出だ。最初は、映画のスクリーンのように横長で視界を狭めた舞台装置が、話が進むにつれて奥行きを広げ、ついにはオイディプスの死と世界の終焉を物語る壮大なパノラマになってゆく。ラドゥ・スタンカ劇場芸術監督のコンスタンティン・キリアックによるオイディプスは、共同体の長として宿命に立ち向かい、やがてすべてを甘受して神に近づいていく男を、頑強かつリアルに演じて説得力がある。

『ガリバー旅行記』と『オイディプス』。ともに従来のイメージとは一線を画し、キャストはほぼ同じなのに、まったく異なるスタイルで描かれた、ブルカレーテの会心作。ラドゥ・スタンカ劇場の個性豊かな俳優たちの、変幻自在ぶりも楽しみだ。

文:伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)

詳細はP9へ

●ルーマニア語上演 日本語・英語字幕付

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

寺山修司生誕80年 カントール生誕100年記念

カントールと演劇の二十世紀



ポーランドが生んだ世界的演出家の生誕100年記念企画。

この演出家の足跡を辿り、21世紀の演劇活動へと繋げていくために。

1979年、寺山修司は天井桟敷の機関誌「地下演劇」で、「物質、または死の演劇」というカントール特集を組み、「死の演劇宣言」を翻訳掲載するなどして、多くの人の関心をカントールに向けさせた。それから数年後、日本を代表する世界的演出家鈴木忠志が芸術監督をつとめた利賀フェスティバルで上演された『死の教室』は、想像を絶するほどに衝撃的なものだった。

ロープで仕切られた空間の向こう側の薄暗がりで演じられる光景は、古びて傷だらけになっている教室の机やボロボロの教科書の残骸などとともに、われわれを異質な空間へと誘うに充分であった。さらに登場人物たちは人形を抱えていたり、あるいは人形にしがみつかれたりしていて、不気味な様相を呈していた。カントールはそこを死の領域と名づけた。

「劇場は、川の渡り場のように、《向こう岸》からわれわれの生活へといたる足跡、《移行》を開示する場である。」

カントールはこのように書きつつ、『死の教室』を作っていた。だが、《向こう岸》からいったい何が送り届けられてくるのか、われわれはあのロープの向こう側に何を目撃しているのか。

この企画では、カントール作品の映像や写真、ドローイングなどを見つつ、シンポジウム、対談、レクチャーなどを重ねることによって議論を深め、カントールの活動の意味を、20世紀芸術の歴史のなかに位置づけ、考えていきたいと思う。

映像記録は、『死の教室』のほか『ヴィエロポーレ、ヴィエロポーレ』『くたばれ!芸術家』『愛と死の機械』『私は二度とここには戻らない』が上映される。

また、10月の会期中は、廃墟の写真家として知られる宮本隆司が『くたばれ!芸術家』の舞台稽古に密着した写真の特別コーナーも設置される。

シンポジウム「カントールの衝撃」には、カントールに深い関心を寄せてきた日本の二人の演出家、劇団解体社の清水信臣と庭劇団ペニノのタニノクロウ、そして、ポーランドからは、批評家・研究者のアンナ・R・ブジンスカ、元劇団Cricot²の俳優レフ・スタングレットが参加、文化的、歴史的差異なども視野に入つつ、カントール演劇の魅力に迫る。

さらに、この企画の終章を飾るものとして、タニノクロウ作・演出によるワーク・イン・プログレス『タニノとドワーフ達によるカントールに捧げるオマージュ』の上演が予定されている。また元Cricot²の俳優リュトゥカ・リーバによるワークショップも企画されており、こうしてカントールの活動が多面的に紹介、議論されることになるだろう。

われわれは、いま、21世紀の演劇の方向性を見つめなければならない。そのために、戦争と革命の時代と言われる20世紀を生きた演出家の足跡を改めて辿り、そこに何らかの示唆を読み取る必要がある。カントールの作品群とともに歴史と記憶はどのように蘇ってくるのだろうか。

文:鴻 英良(演劇批評家)

10月8日(木)～10月18日(日) シアターイースト

作品上映 + 展示 + レクチャー + シンポジウム

■上映作品(いずれも日本語字幕付)

詳細はP9へ

「死の教室」「くたばれ!芸術家」「ヴィエロポーレ、ヴィエロポーレ」「私は二度とここには戻らない」「愛と死の機械」

■レクチャー「カントールと演劇の二十世紀」10月10日(土) 16:15～

講師:鴻英良

■シンポジウム「カントールの衝撃」10月12日(月・祝) 16:15～

スピーカー=タニノクロウ+清水信臣+アンナ・R・ブジンスカ+レフ・スタングレット
司会=鴻英良

詳細はHPへ

12月17日(木)～24日(木) アトリエイースト

■タニノクロウ作・演出ワーク・イン・プログレス

「タニノとドワーフ達によるカントールに捧げるオマージュ」

12月18日(金)～20日(日) リハーサルルームL

■ワークショップ「カントールの舞台の俳優術」

講師:リュトゥカ・リーバ

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

バルコ 寺山修司生誕80年 音楽劇「レミング～世界の涯まで連れてって～」

12月6日(日)～20日(日) プレイハウス

詳細はP13へ

寺山修司生誕80周年を飾る代表作の深化形・東京芸術劇場に堂々登場



10代で歌人、詩人として世に出て以来、演劇、映画、評論など表現方法もジャンルも軽やかに横断し、70年代当時の日本、その既存の価値観をことごとく覆したマルチクリエイター寺山修司。『レミング～世界の涯まで連れてって～』（1979年初演）は、その寺山が主宰した《演劇実験室●天井桟敷》の最終公演（83年）としても上演された代表作だ。

舞台は東京品川区五反田の安アパート。中華料理の見習いコックと、畳の下には彼らの母親が住む一室の仕切り壁が、ある日忽然と消えてしまう。壁の消えた部屋は、部屋であることを忘れたかのように奇妙な訪問者を次々に呼び寄せ、やがては病院や映画の撮影所、海外とおぼしき牢獄とも繋がっていく……という幻惑的な劇世界は、「寺山修司ならではの都市論」として初演当時から高い評価を受けた。

寺山没後30年の2013年には、関西野外劇の雄「維新派」率いる松本雄吉を演出に迎えて上演。上演台本も松本と、名古屋の「少年王者館」主宰で、

作：寺山修司 演出：松本雄吉（維新派） 上演台本：松本雄吉／天野天街（少年王者館）
出演：満端淳平 柄本時生 霧矢大夢 鷹 赤児 ほか

主催：バルコ
共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

芸劇eyes てがみ座「地を渡る舟 -1945／アチック・ミュージアムと記者たち-」

10月23日(金)～11月1日(日) シアターイースト

詳細はP10へ



2013年初演より

撮影：伊藤 雅章

作：長田育恵 演出：扇田拓也

出演：福田温子／今泉 舞／箱田暁史／清水 伸／俵木藤汰／松本紀保／三津谷 亮／川面千晶／近藤フク／森 啓一朗／伊東 潤／中村シュン／西山水木

主催：てがみ座
提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）



Art Direction 名久井直子／Photo 江森康之

Interview 藤田貴大

寺山の言葉の強さを信じて。

動くたびに大きく深い波紋を起こす、マームとジブシーの藤田貴大。今回は、60～70年代の日本の戯曲に若手演出家が挑む人気企画「Roots」で、寺山修司の『書を捨てよ町へ出よう』を演出する。

『書を捨てよ～』は、タイトル自体が作品

小学4年生から高校卒業まで地元・北海道の市民劇団に在籍し、演劇に造詣の深い大人に囲まれて育った藤田貴大は、現在30歳だが、寺山修司の名前はごく自然に認識していたという。具体的な作品に触れるようになったのは高校生の頃。演劇人としてよりも詩人、歌人としての寺山に惹かれた。

「当時はサブカル、中でもビートニクスが好きでいろいろな本を読んでいたんですが、寺山さんの名前はその流れでも出てくるんです。言葉のセンスがすごいのはもちろん、ビートニクスの“残酷なものを描きながらも詩的な部分がある”という点でも、寺山さんは素晴らしい。美しい言葉を使っているのに、見てはいけないものを覗いて描いていたり、きれいな人の汚いところを描いたりする。相反するもの同士の葛藤を感じて、そこがおもしろいと思っていました」

「Roots」で寺山作品を、という企画を受けて迷わず選んだのは『書を捨てよ町へ出よう』だった。

「お話をいただいたのが、野田秀樹さんの『小指の思い出』に取り組んでいた時で、言葉も構造もすごくガッチリした作品と向き合っていたこともあって、次はもう少し自由に僕の演出——テキストを1度断片にして編集するやり方ですね——に寄せられるものがあったんです。『書を捨てよ～』は、映画も舞台も本もあるけど、タイトル自体が作品になっていて、内容（の統一）にはこだわっていない気がするんです。でもタイトルが寺山さんの精神そのもので格好いい。野田さんとは違うロマンチックな感じがあって、それを大切にしたいです」

ベースにする映画版は、19歳の少年の、与えられるものは拒み、欲しいものには手が伸ばせない鬱屈した日々が中心に描かれるが、ドキュメントタッチのインタビューやイメージ映像が唐突に差し挟まれる。その奔放さを受け継ぎ、ユニークなつくり方をするらしい。

「主演の村上虹郎くん、映像出演の穂村弘さんや又吉直樹さん達とそれぞれ一緒に映画の『書を捨てよ～』を観ようと思っているんです。その時にレコーダーを回して、その人達と話したことを書き起こしてテキストに使ったり、

取材・文：徳永京子

詳細はP13へ

12月5日(土)～27日(日) シアターイースト

作：寺山修司 上演台本・演出：藤田貴大（マームとジブシー）

出演：村上虹郎 青柳いづみ 川崎ゆり子 斎藤摩子 沼田実子 吉田聡子 石井亮介 尾野島慎太郎 中島広隆 波佐谷聡 船津健太／山本達久（ドラマー）

映像出演：穂村 弘（歌人）／又吉直樹（芸人）

一般発売：10月17日(土)

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
東京都アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）



撮影:宮下裕行

新しい、日本の《フィガロ》の誕生！ モーツァルトと野田秀樹の見事な融合。

舞台を幕末の「黒船来航」時代に、長崎に赴任してくる伯爵夫妻とケルビーノ以外を日本人に置き換え、
「フィガ郎」と「スザ女^{オンナ}」の結婚をめぐる騒動を、「庭師アントニ男」の視点で物語る。

オペラの本拠地であるヨーロッパでは、演劇畑の演出家がオペラの演出に進出するのは、かなり以前から当然のこととなっており、すでに長い歴史と蓄積がある。オペラ演出に意欲を示す演出家はあとを絶たない。昨今のように、演出本位のオペラが多い時代ではなおさらだ。そうした演出家たちは、しかしながら、ヨーロッパ教養人の常として小さい頃からオペラを見る習慣が少なからずあり、オペラを芝居とは別の世界だとあまり思っていないようだ。ヨーロッパの都市のなかでいちばん大きな劇場が歌劇場、あるいはいちばん華やかな芝居小屋がオペラ座、そうした感覚が染みこんでいるからだろう。

日本の場合、なかなかそうはいかない。オペラを見ることが——芝居を見ること以上に——特殊な経験と一般には映っているからであり、また劇場文化そのものが文化全体の枠組みのなかで果たす役割が、ヨーロッパほどには大きくないからでもある。そんななかで、オペラにさほど親しんでいない、また、オペラ独特の手法にも慣れず共感もない演劇の演出家がオペラに進出して、惨憺たるものを作っている場合が少なくなかった。

今回の『フィガロの結婚』は、そうしたなかで、初めて音楽と芝居とがうまくマッチングした稀有の例と言えるだろう。もともと、物語展開の間合いも快活で小気味よく、登場人物たちの洒落な騙しあいにあふれたダ・ポンテの台

本は、野田秀樹の芝居にどこか通じるものがある。ヴェルディやワーグナー以降の作品のように、音楽ががんじがらめにドラマを縛っているわけでもないモーツァルトのオペラの場合、さまざまな工夫や巧妙な改変を作品に施すゆとりがあちこちにあり、音楽の隙間に芝居の合いの手を入れる可能性がふんだんに用意されている。

そうした隙間を、野田秀樹は存分に活かしている。野田ファンは、いつも通りの野田がモーツァルトをダシにして自分本来の舞台を展開していることを確認して安心するか、あるいはしてやったりと快哉を叫ぶだろうし、モーツァルトのオペラ・ファンは——よっぽどこちこちの原理主義者でもない限り——、こんなことがオペラに出来るんだと認識を新たにするだろう。ここではモーツァルトの音楽の縛りが、むしろ野田の芝居に活力を与えている。

その要に、庭師を狂言廻しにするというアイディアがあるわけだが、この庭師の冒頭の前口上が、イタリア語と日本語ちゃんぽんの、ことば遊びにも富んだ、いわば「野田語」の世界へとモーツァルトを自然に飛翔させている。のっけからもうこれは野田版モーツァルトだ。そして、新しい日本の《フィガロ》、日本のモーツァルトだ。

文:長木誠司(音楽評論家)

10月22日(木) 18:30開演 (追加公演)・24日(土) 14:00開演・25日(日) 14:00開演 コンサートホール 詳細はP10へ

指揮・総監督:井上道義 演出:野田秀樹

出演:ナターレ・デ・カロリス／テオドラ・ゲオルグー／小林沙羅／大山太輔／マルテン・エンゲルチェス／森山京子／妻屋秀和／牧川修一／三浦大喜／コロン・えりか／廣川三憲
新国立劇場合唱団(合唱)、読売日本交響楽団(管弦楽) ほか

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
共同制作:公益財団法人金沢芸術創造財団／兵庫県立芸術文化センター／サンポートホール高松／
ミュージアムシンフォニーホール／東京芸術劇場／山形テルサ／名古屋市文化会館／
宮崎県立芸術劇場／熊本県立劇場

海外オーケストラシリーズ I・II・III

世界の音楽界をリードする旬の逸材を聴く！

ベルリン・ドイツ交響楽団 詳細はP10へ
10月30日(金) 19:00開演
コンサートホール

指揮:トゥッガン・ソビエフ ヴァイオリン:神尾真由子
管弦楽:ベルリン・ドイツ交響楽団
シューベルト／劇音楽「ロザムンデ」D.797 序曲
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第7番

富士電機スーパーコンサート 詳細はP11へ
ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団
11月12日(木) 19:00開演
コンサートホール

指揮:グスターボ・ヒメノ ピアノ:ユジャ・ワン
管弦楽:ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第2番
交響曲第6番「悲愴」 特別協賛:富士電機株式会社



©Enk Weiss



©Shion Isaka



©Marco Borggreve



©James Cheadle



©Martin Sigmund



©Marie Staggar

フランクフルト放送交響楽団 詳細はP12へ
11月19日(木) 19:00開演
コンサートホール

指揮:アンドレス・オロスコ=エストラーダ
ピアノ:アリス=紗良・オット 管弦楽:フランクフルト放送交響楽団
グリンカ／歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番
ブラームス／交響曲第1番

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



あなたは光を耳で聴いたことはあるだろうか？ 祈りの深さを体験したことはあるだろうか？

「ジョワ・ド・ヴィーヴル」は、パフォーミングアートに関心あるすべての人にとっての冒険である。

700年ものスケールで繰り上げられる 祝祭性と同時代性

そもそも、劇場やコンサートホールとは、何のための場所なのだろうか？ 演劇と舞踊と音楽を、本来区別する必要は果たしてあるのだろうか？ 東京芸術劇場コンサートホールで11月1日に行われる、開館25周年記念「ジョワ・ド・ヴィーヴル—生きる喜び」は、そんな問い直しから発した、過去に全く前例のないコンサートである。

いまあるクラシック演奏会の普通の「型」から、これほど逸脱した冒険的な試みは滅多にない。中世から現代までに至る、約700年ものスケールで、さまざまな時代や地域を自在に行き来し、オルガンから合唱、吹奏楽からオーケストラまで、多種多様な響きが盛り込まれているのだから。

ここにはフォーマルな祝祭という要素もあるが、よい演劇というものにすぐれて同時代的であるのとおなじように、このコンサートも、いまの社会や時代状況を想起させる、メッセージ性の強いものとなっている。アーティスティック・ディレクターの鈴木優人は、古楽から現代にいたるまで広大なレパートリーを持つ指揮者・作曲家・鍵盤楽器奏者・プロデューサーであり、今後の未来の音楽界を担う総合的音楽家として注目されている。彼によれば、一見バラエティ豊かで壮大なこのコンサート、実はかなり周到に構成したものだという。

15時にはじまる第1部「祈り」では、パイプオルガンが活躍するのがポイント。そもそもオルガンという楽器は、孤立したジャンルなどでは決していない。かつてモーツァルトが「楽器の王」と述べたことに象徴されるように、古今のすべての音楽にとっての重要な根本であり、特殊で空間的な音響体験へと聴き手を誘う、魂を飛翔させてくれる至高の方法なのである。

11月1日(日) コンサートホール 詳細はP11へ

第1部「祈り」 15:00開演

指揮&ポジティブ・オルガン:鈴木優人 オルガン:石丸由佳 ダンス:小原健太 合唱:バッハ・コレギウム・ジャパン
鈴木優人／《アポカリプシスII》(按察)
N.deグリーノ／讃歌(来たれ、創り主なる聖霊よ、(ヴェニ・クレアトル)より
〈テノール声部の定旋律による5声のブラン・ジュ〉
G.deマジョー／モテトゥス《よき羊飼ひ》
G.S.リグティ／《オルガンのための二つの習作》より「クレ」
A.ベルト／《主よ平和を与えたまえ》
J.S.バッハ／モテット《私はあなたを離しません》BWVAnh.159
J.アラン／《連祷》
W.A.モーツァルト／《アヴェ・ヴェルム・コルプス》KV618
J.P.スウェーリンク／《涙のバヴァース》SwWV328
D.ラング／《愛は強いから》
J.S.バッハ／《我ら苦難の極みにあるときも》BWV641

第2部「希望と愛」 17:30開演

指揮:鈴木優人 ピアノ:児玉 桃* オンド・マルトノ:原田 節* 吹奏楽:芸術ウィンド・オーケストラ** 管弦楽:東京交響楽団*
小出稚子／ウィンドアンサンブルのための《玉虫ノスタリジア》バリトンサクソフォン版(世界初演)**
I. ストラヴィンスキー (R.アールズ編曲)／組曲《火の鳥》吹奏楽版全曲(1919年版)**
O. メシアン／《トゥーランガリーラ交響曲》*

劇場の内と外のダイナミズムへ

16時から17時半くらいまでにかけての休憩時間には面白い偶然がある。劇場のすぐ外の池袋西口公園では、カラフルな布をつないだ「大風呂敷」に彩られた「プロジェクトFUKUSHIMA!」のフェスティバルが行われているのだ。これは東日本大震災を機に、福島の詳細と未来を世界に発信するために、音楽家・大友良英らが中心となり継続されているもの。祈りの世界が強く意味をなすのは、まさにこうした現在の福島の状況と照応したときであろう。劇場の内と外とのこうしたダイナミズムは音楽や演劇の本質にかかわる問題でもある。

そして第2部「希望と愛」。ここでメインとなるのはメシアンの「トゥーランガリーラ交響曲」。この作品はいわば「壮大な愛」についての音楽であり、輝かしい音がふんだんに盛り込まれている。そもそも光や色は目で見えるものであるが、20世紀最大の作曲家メシアンは、音にも色があると考えた人である。みなさんは想像できるだろうか？ 音で輝きを聴くことができる、いや——浴びることができる、ということ。これは超感覚体験の音楽なのである。

ちなみに、鈴木優人はこの「トゥーランガリーラ交響曲」の第5楽章「星たちの血の喜び」についてこう語っていた。「メシアンは戦争経験者でした。彼にとって、血を流して死んだ人たちは星になったのだと思います。その人たちは決して喜んで死んでいったわけではない。でも天国ではきらきらとまたたいているのです」

こうした幻想的なビジョンを聞くと、もはや音楽と演劇の違いなどどうでもよくなってくる。大切なのは私たちが生きて、感覚を動かして、ライブで、偉大で永遠なものについての体験を共にできることなのだ。

取材・文:林田直樹(音楽ジャーナリスト・評論家)



©Goro Tamura



©N.Ikegami



©Marco Borggreve



©Yutaka Hamano

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



音楽界騒然の「エル・システマ」体験を!!

世界が注目する破格の才能を次々に送り出してきた、南米ベネズエラの「エル・システマ」。

東京芸術劇場が音楽の楽園となった2013年秋に続き、今年も彼らを招いてのフェスティバルが開催される。

コンサートで、テレビで、インターネットで、目撃した音楽ファンの間ではもはや伝説化しているオーケストラが、音楽シーンに嵐を呼ぶ指揮者・ドゥダメルとシモン・ポリバル交響楽団(元ユース・オーケストラ)。彼らを生み出し、世界中の音楽シーンに大きな衝撃を与えたのは、ベネズエラの社会を変えたとさえ称される教育機関「エル・システマ」だ。その実力、熱狂、精神などを東京の音楽ファンも肌で感じることができた2013年の『エル・システマ・フェスティバル』では、多くの聴衆が音楽のもつパワーに触れ、彼らの熱演や誇りに対して熱い拍手を送った。

その反響に応え、今年の11月にも同フェスティバルが開催される。来日するオーケストラは14歳から25歳の若手奏者たち、約200名で構成されている「テレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ」。国を代表する伝説的ピアニストの名前を冠したこのオーケストラは、ドゥダメルに続く才能と称されるバスケスに率いられ、音楽を創造する喜びや感動を私たちに伝えてくれるだろう。コンサートに加えて、「エル・システマ」の新しい挑戦と言える50歳以上を対象としたワークショップなども開催される。

熱狂のコンサートと斬新なワークショップ

バスケス指揮による2回のオーケストラ・コンサートは、音楽がもつ感動を信じるすべてのリスナーや、クラシック音楽を学ぶ若い世代の方たちに聴いていただきたい内容だ。ジャズ・ピアニストの小曽根真がラフマニノフを弾く11月17日のコンサートでは、オーケストラの腕試しと言える華麗なR.シュトラウス作品で実力を披露。ベルリオーズの「幻想交響曲」や南北アメリカ

の作品を演奏する11月21日のコンサートでは、ホールの体感温度が上がるほどの熱狂を体験していただけるだろう。

さらに注目すべきは、独特のノウハウを駆使した音楽ワークショップだ。50歳以上の楽器未経験者がオーケストラでの演奏にチャレンジする『50歳からの!12時間でシンフォニーに挑戦しよう!』、そして聴覚障害者が白い手袋の力を借りて合唱を楽しむ『ホワイトハンドコーラス』。2つのプロジェクトは「エル・システマ」の存在価値や精神そのものだと言える「音楽と社会との密接な関係」について、日本の社会にも一石を投じるものになる。その驚きと感動を、ぜひ体験してほしい。

文:オヤマダアツシ

“喜びの音”が世界を変える!

「君たちはこの楽器で世界を変えるんだ!」アブレウ博士が、とあるガレージで11人の子どもに語りかけてから40年。「エル・システマ」は猛烈な勢いで世界中の人々の魂に触れ、音楽とは何か改めて私たちに問いかけています。テレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラの団員も皆、楽器を手にすることによって自分と周りの人々の世界を変えた生き証人です。彼らの、力強い決心と喜びの音をぜひ聴きにいらしてください! 次はあなたの世界が変わるかもしれません。

—— コロンスリカ(駐日ベネズエラ大使夫人・ソプラノ歌手)



クリスティアン・バスケス



小曽根 真

11月17日(火) 19:00開演 コンサートホール

指揮:クリスティアン・バスケス ピアノ:小曽根 真
管弦楽:テレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ
R.シュトラウス/交響詩「ドン・ファン」op.20
ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲 op.43
R.シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」op.40

11月21日(土) 15:00開演 コンサートホール

指揮:クリスティアン・バスケス
管弦楽:テレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ
バーンスタイン/《キャンディード》序曲
ヒナステラ/バレエ《エスタンシア》op.8から 舞曲
カルロス・チャベス/シンフォニア・インディア
ベルリオーズ/幻想交響曲 op.14

詳細はP12へ

エル・システマ・フェスティバル 2015 ワークショップ 『50歳からの!12時間でシンフォニーに挑戦しよう!』

【練習】11月16日(月)～18日(水) 15:00～19:00

【演奏会】11月18日(水) 19:00～20:30

※3日間連続のワークショップです。

テレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラメンバーとの合同演奏を予定。

■参加条件:楽器未経験者で50歳以上、全日程参加可能な方

■参加費:無料 ※事前申込制

『ホワイトハンドコーラス ワークショップ』

11月21日(土) 13:00～15:00(予定)

※15:00より、コンサートホール舞台上にて発表会を予定。

■参加対象:聴覚障害者をはじめ、一緒に歌いたい方

■参加費:無料 ※事前申込制

ワークショップの詳細は
HPをご覧ください。

ザ・フィルハーモニクス

10月26日(月) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP10へ



©Maria Svarbova

出演:ザ・フィルハーモニクス

シュトラウスII(S.コンツ編)/喜歌劇「こもり」より「チャールダーシュ」 ブ람ス(T.コヴァーチ編)/ハンガリー舞曲 第6番
サン＝サーンス(T.コヴァーチ編)/交響曲「死の舞踏」Op.40 リスト(F.ヤノーシュカ編)/愛の夢 第3番 ほか

主催:ジャパン・アーツ

提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

前橋汀子 デイライト・コンサート Vol.3

10月28日(水) 11:30開演 コンサートホール

詳細はP10へ



前橋汀子

©藤山紀信



松本和将

ヴァイオリン:前橋汀子 ピアノ:松本和将

ドビュッシー/亜麻色の髪の乙女 ベートーヴェン/ロマンス 第2番 ヘ長調 op.50 クライスラー/ウィーン奇想曲

サン＝サーンス/「動物の謝肉祭」より 白鳥 懐かしの青春メドレー/「テネシー・ワルツ」、ロシア民謡「黒い瞳」、「マイ・ウェイ」 ほか

主催:KAJIMOTO

提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場&ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画 第6回音楽大学オーケストラ・フェスティバル

11月8日(日)15:00開演・15日(日)15:00開演 コンサートホール

詳細はP11へ



梅田俊明

©三浦一



秋山和慶



下野竜也

©acaya_Yamaguchi



山下一史

©K.Miura

未来の巨匠が集うオーケストラの祭典。

秋には首都圏の音楽大学が個々に、そして春には各大学の選抜混成チームで公演を行う『音楽大学オーケストラ・フェスティバル』。2015年11月には参加9大学のうち4大学が東京芸術劇場で演奏。1回のチケットが1,000円という価格であるため、同世代はもちろん、音大を目指す高校生も気軽に聴けるはずだ。

11月8日(日) 15:00開演

指揮:梅田俊明(武蔵野音楽大学)/秋山和慶(洗足学園音楽大学)

シベリウス/交響曲 第2番 二長調 作品43(武蔵野音楽大学)

ムソルグスキー(ラヴェル編曲)/組曲「展覧会の絵」(洗足学園音楽大学)

11月15日(日) 15:00開演

指揮:下野竜也(上野学園大学)/山下一史(東京藝術大学)

ブリテン/シンフォニア・ダ・レクイエム 作品20(上野学園大学)

R.シュトラウス/交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」Op.30, TrV176(東京藝術大学) ほか

主催:音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会/東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

東京芸術劇場パイプオルガンコンサート Vol.20 ～聖夜に贈るクリスマス・オラトリオ～

12月16日(水) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP13へ



©Hikaru S.



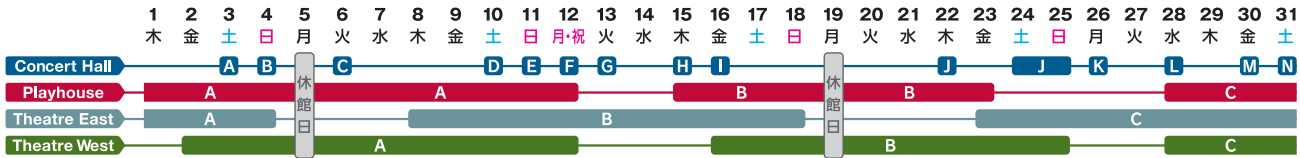
「第九」の合間に聴きたい聖なる響き。

クリスマスの前にしてちょっと厳かな気分になれる『パイプオルガンコンサート』は、音楽を聴きながら1年を振り返りたくなる一夜。オルガンの響きに心を委ね、ハーブや声楽との作品、そしてサン＝サーンス作曲の美しい教会音楽(声楽曲)を聴いて、新しい年を迎える準備をしたい。

指揮&カウンターテナー:青木洋也 オルガン:小林英之/新山恵理/平井靖子/川越聡子 ハープ:片岡詩乃 合唱:清水 梢/大田菜里/小林 恵/大森彩加(Sop)
高橋幸恵/奥石まりあ/朝倉麻里亜/佐々木香葉子(Alt) 豊原奏/及川 豊/吉田 宏(Ten) 加未 徹/杉山範雄/小池優介(Bar) 管弦楽:フィルハーモニーカンマーンアンサンブル
ブクステフデ/コラール「暁の星はいと美しきかな」BuxWV223 J.S.バッハ/前奏曲とフーガ ハ長調 BWV547
ギルマン/ヘンデルの「頭を上げよ」による宗教的行進曲 Op.15,2 サン＝サーンス/クリスマス・オラトリオ Op.12 ほか

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区

10
OCT



Concert Hall 音楽路号：指揮 (Cond) / ソプラノ (Sop) / メゾ・ソプラノ (M.Sop) / アルト (Alt) / テノール (Ten) / バリトン (Bar) / バス (Bass) / コーラス (Chor) / フルート (Fl) / オーボエ (Ob) / クラリネット (Cl) /

A 3日(土) 14:00開演 BOX

清水和音&東京ニューシティ管弦楽団
アフタヌーンコンサート

出演 内藤 彰(Cond) / 清水和音 (Pf)
東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ムソルグスキー / (リムスキー=コルサコフ編) / 交響詩『禿山の一夜』
グリーク / ピアノ協奏曲
チャイコフスキー / ピアノ協奏曲第1番
料金 S:6,500円 / A:5,000円 / B:3,500円 / C:2,500円
TEL 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

B 4日(日) 14:00開演 BOX

日本フィル 第214回サンデーコンサート

出演 西本智実 (Cond) / 熊本佳永 (Sop) / 田中 勉 (Bar) /
日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 プッチーニ / オペラ『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」
ヴェルディ / オペラ『椿姫』より「プロヴァンスの海と陸」
リムスキー=コルサコフ / スペイン奇想曲
ラヴェル / ボレロ ほか
料金 SS:9,500円 / S:8,700円 / A:7,500円 / B:6,700円 /
C:5,700円 / Gs:5,700円 / Ys:1,500円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

C 6日(火) Closed・関係者のみ

日本美容専門学校 特別授業

D 10日(土) 16:30開演

Game Symphony Japan
14th Concert : SEGA special vol.1

出演 志村健一 (Cond) / 東京室内管弦楽団 / 東京混声合唱団 ほか
曲目 ゲーム製作会社 (SEGA) の楽曲
料金 S:8,500円 / A:7,500円 / B:6,500円
TEL サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

E 11日(日) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団
「作曲家の肖像」シリーズ Vol.105<ロシア>

出演 小泉和裕 (Cond) / アレクサンダー・ロモノフスキー (Pf) /
東京都交響楽団
曲目 カバレフスキー / 歌劇『コラ・ブルニョン』序曲
ラフマニノフ / ピアノ協奏曲 第2番
グラスノフ / バレエ音楽『四季』より「秋」
ポロティン / 歌劇『イーゴリ公』より「序曲」「だったん人の踊り」
料金 S:5,800円 / A:4,800円 / B:3,800円 /
C:2,800円 / Ex:2,000円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

F 12日(月・祝) 14:00開演 BOX

新交響楽団 第231回演奏会

出演 寺岡清高 (Cond) / 新交響楽団
曲目 ニコライ / 歌劇『ウインザーの陽気な女房たち』序曲
ベートーヴェン / 交響曲第1番
シュミット / 交響曲第4番
料金 S:3,000円 / A:2,500円 / B:1,500円
TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

G 13日(火) Closed・関係者のみ

跡見学園中学校高等学校
イ・ムジチ合奏団

H 15日(木) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・
パイプオルガンコンサート Vol.12

出演 小林英之 (Org)
曲目 〜オール・パッパ・プログラム〜
J.S.バッハ / 前奏曲とフーガ 短調 BWV543
コラル「罪なき神の子羊」 BWV656
トリオ・ソナタ 第3番 二短調 BWV527
ファンタジア「キリストは死の縄目につがねたり」 BWV695
コラル「神はわがやぐら」 BWV720
バルティータ「恵み深きイエスを迎えよ」 BWV768

料金 【全席指定】1,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

I 16日(金) 19:00開演 BOX

SIOフィルハーモニックウインドオーケストラ
ドリームコンサート2015

出演 汐澤安彦 (Cond) /
SIOフィルハーモニックウインドオーケストラ
曲目 パーンズ / アルヴァマー序曲
リード / アルメニアンダンス・パート1
ホルスト / 吹奏楽のための組曲第2番
チャイコフスキー / 序曲「1812年」 ほか
料金 A:3,000円 / B:2,000円
TEL (有) 宏栄工業ドレミファクトリー 03-3694-0585

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く
10:00～19:00

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット (Fg) / サックス (Sax) / ホルン (Hn) / トランペット (Tp) / トロンボーン (Trb) / ティンパニ (Timp) / ヴァイオリン (Vn) / ヴィオラ (Vla) / チェロ (Vc) / コントラバス (Cb) / ハープ (Hp) / ピアノ (Pf) / チェンバロ (Cemb) / オルガン (Org)

K 26日(月) 19:00開演 BOX

ザ・フィルハーモニクス

出演 ザ・フィルハーモニクス
ティボール・コヴァーチ (Vn) / ローマン・ヤーノシュカ (Vn) /
ティロ・フェヒナー (Vla) / シュテファン・コンツ (Vc) /
エーデン・ラーツ (Cb) / ダニエル・オッテンザマー (Cl) /
フランティšek・ヤーノシュカ (Pf)
曲目 シュトラウスII (S.コンツ編) / 喜歌劇「こもり」より「チャールダーシュ」
ブラームス (T.コヴァーチ編) / ハンガリー舞曲 第6番
サン＝サーンス (T.コヴァーチ編) / 交響詩「死の舞踏」Op.40
リスト (F.ヤーノシュカ編) / 愛の夢 第3番 ほか
料金 【全席指定】6,500円
TEL ジャパン・アーツびあコールセンター 03-5774-3040

L 28日(水) 11:30開演 BOX

前橋汀子 デイライト・コンサート Vol.3

出演 前橋汀子 (Vn) / 松本和将 (Pf)
曲目 ドビュッシー / 亜麻色の髪のエ女
ベートーヴェン / ロマンス 第2番
ヴァイオリン・ソナタ 第9番「クロイツェル」より第1楽章
懐かしの青春メドレー
“テネシー・ワルツ”、ロシア民謡「黒い瞳”、“マイ・ウェイ” ほか
モンティ / チャールダーシュ ほか
料金 【全席指定】2,000円
TEL カジモトイープラス 0570-06-9960

休館日 5日(月)・19日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更がある場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

M 30日(金) 19:00開演 BOX

2015-2016 海外オーケストラシリーズI
ベルリン・ドイツ交響楽団

出演 トッガン・ソビエフ (Cond) / 神尾真由子 (Vn)
ベルリン・ドイツ交響楽団
曲目 シューベルト / 劇音楽『ロザムンデ』序曲
メンデルスゾーン / ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン / 交響曲第7番
料金 S:16,000円 / A:13,000円 / B:10,000円 /
C:7,000円 / D:5,000円 /
(SS:18,000円)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

N 31日(土) 19:00開演

白金フィルハーモニー管弦楽団
第24回定期演奏会

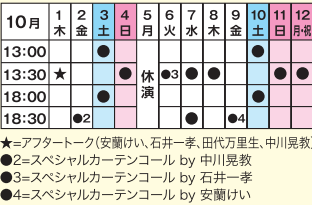
出演 汐澤安彦 (Cond) / 白金フィルハーモニー管弦楽団
曲目 チャイコフスキー / 幻想序曲『ロメオとジュリエット』
サン＝サーンス / 交響詩「死の舞踏」
ベートーヴェン / 交響曲第5番「運命」
料金 【全席指定】1,000円
TEL 白金フィルハーモニー管弦楽団 090-3216-4982

Playhouse

A ~12日(月・祝) BOX

CHESS THE MUSICAL

原案・作詞 ティム・ライス
作曲 ベニー・アンダーソン / ビョルン・ウルバース (ABBA)
演出・訳詞 萩田浩一 音楽監督 島 健
出演 安蘭けい / 石井一孝 / 田代万里生 / 中川晃教 /
AKANE LIV / 戸井勝海 / 天野朋子 / 池谷京子 /
角川裕明 / 高原伸輔 / 田村雄一 / 遠山裕介 / ひのあらた / 横関咲栄 / 大野幸人
料金 【全席指定】S:12,000円 / A:10,000円 / B:8,000円 / U25:5,000円
TEL 梅田芸術劇場 0570-077-039



★=アフタートーク(安蘭けい、石井一孝、田代万里生、中川晃教)

●2=スペシャルカーテンコール by 中川晃教

●3=スペシャルカーテンコール by 石井一孝

●4=スペシャルカーテンコール by 安蘭けい

B 15日(木)~23日(金) BOX

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場
「ガリバー旅行記」「オイディプス」

演出 シルヴィウ・ブルカレーテ
「ガリバー旅行記」出演 オフェリア・ポビ ほか
「オイディプス」出演 コンスタンティン・キリアック / オフェリア・ポビ ほか
料金 【全席指定】一般 S:5,500円 / A:4,500円 / 25歳以下 (A) :3,000円 /
65歳以上 (S) :5,000円 / 高校生割引:1,000円 / 2公演S席セット券:10,000円
※25歳以下チケットは席をお選びいただけません。
※セット券、65歳以上、25歳以下、高校生割引は、劇場ボックスオフィスにて前売りのみ取扱い(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296



●=ガリバー旅行記 / ■=オイディプス

C 28日(水)~11月1日(日)

「DANCE SYMPHONY」最終楽章~THE DANCERS~

出演 張敬月 (Zhang Aoyue) / 東山義久 /
DANIEL (荒井英之:元K/レエカンパニー) / 西島数博 / 水 夏希 /
Special古琴演奏:鄧紅 (Deng Hong)
料金 【全席指定】S:8,800円 / A:7,000円
TEL キョードー東京 0570-550-799



Theatre East

A ~4日(日) BOX

カタルシツ「語る室」

作・演出 前川知大
出演 浜田信也 / 安井順平 / 盛 隆二 / 大窪人衛 /
木下あかり / 板垣雄亮 / 中嶋朋子
料金 【全席指定】前売:4,500円 / 当日:4,800円
TEL カタルシツ 03-6303-0521



◆=早期観劇割引 ★=ポストトーク

B 8日(木)~18日(日) BOX

カントール生誕100年記念
カントールと演劇の二十世紀

料金 【全席自由】作品上映+展示:1本 / 1,500円
映画セット券:2,800円 (2本) / 3,900円 (3本) / 4,800円 (4本)
※セット券は前売のみ取扱い(枚数限定)
シンポジウム、レクチャー+展示:各回1,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296



A=死の教室 / B=くたばれ! 芸術家 /
C=ヴィエロポーレ、ヴィエロポーレ /
D=私は二度とここには戻らない / E=愛と死の機械
L=レクチャー / S=シンポジウム

C 23日(金)~11月1日(日) BOX

芸術eyes てがみ座

「地を渡る舟 -1945 / アチック・ミュージアムと記者たち-」

作 長田育恵 (てがみ座) 演出 扇田拓也
出演 福田温子 / 今泉 舞 / 箱田暁史 (以上 てがみ座) / 清水 伸(ふくふくや) / 飯木藤次(ラッパ屋) / 松本紀保 / 三津谷 亮 / 川面千晶(ハイバイ) /
近藤フク(ペンギンフルバイル/バイルズ) / 森 啓一朗 (東京タンバリン) / 伊東 潤 (東京乾電池) / 中村シユン / 西山水木
料金 【全席指定】前売:4,000円 / 当日:4,200円 / 25歳以下:3,000円 (入場時要証明書)
TEL プリエール 03-5942-9025 (平日11~18時)



★=ポストトーク等のイベントあり

Theatre West

A 2日(金)~12日(月・祝) BOX

種の日とよはし芸術劇場PLAT Produce「父よ!」

作・演出 田村孝裕 (ONEOR8)
出演 平田 満 / ベンガル / 徳井 優 / 花王おさむ / 井上加奈子
料金 【全席指定】一般 (早期観劇割引) :4,000円 / 一般:4,500円 / 25歳以下:2,500円 / 高校生割引:1,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296



◆=早期観劇割引 ★=ポストトーク

B 16日(金)~25日(日) BOX

フォースタス

原作 クリストファー・マーロウ 上演台本・演出 鈴木勝秀
料金 【全席指定】前売当日:5,500円 / 学生:3,500円 / ペアチケット:10,000円
TEL 演劇集団円 0422-29-8135



C 28日(水)~11月2日(月)

薔薇色のfrontier

脚本・演出 斎藤栄作
出演 小野建斗 / 桜乃彩音 / 山田幸伸 / 平野勲人 / 我 善導 / 三宅祐輔 /
塩澤英真 / 宮垣祐也 / 櫻井圭登 / 白華れみ / 泉見洋平
料金 【全席指定】前売:6,500円 / 当日:6,800円 TEL 有限会社レイネット 03-3481-0428



11
NOV

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
Concert Hall	A	B	C		D	E	F	G	H	休 館 日	I	J		K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T		U	V	W	X	Y	
Playhouse	A										B											C	D	E					F	
Theatre East	A							B						C									D				E			
Theatre West	A						B																C							D

Concert Hall

音楽略号:指揮 (Cond) /ソプラノ (Sop) /メゾ・ソプラノ (M.Sop) /アルト (Alt) /テノール(Ten)/バリトン (Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/ファゴット(Fg)/

A 1日(日) 15:00開演、17:30開演

BOX

開館25周年記念コンサート
ジョワ・ド・ヴィーヴル ― 生きる喜び

第1部「祈り」 15:00開演

出演 鈴木優人 (Cond・Org) /石丸由佳 (Org) /小尻健太 (ダンス) /
パッパ・コレギウム・ジャパン (合唱)

曲目 鈴木優人 /《アポカリプシスⅡ》(抜粋)
N.deグリーノ /讃歌《来たれ、創り主なる聖霊よ、(ヴェニ・クレアトル)》より
(テノール声部の定旋律による5声のプラン・ジュ)
G.deマジョー /モテツス《よき半調い》
G.S.リゲティ /《オルガンのための二つの習作》より「クレ」
A.ベルト /《主よ平和を与えたまえ》

J.S.バッハ /モテツト《私はあなたを離しません》BWVAnh.159 J.アラン:遺稿
W.A.モーツァルト /《アヴェ・ヴェルム・コルパス》KV618
J.P.ウェーリント /《涙のバヴァーズ》SwWV328 D.ラング /《愛は強いから》
J.S.バッハ /《我ら苦難の極みにあるときも》BWV641

第2部「希望と愛」 17:30開演

出演 鈴木優人 (Cond) /児玉 桃 (Pf) /原田節* (オンド・マルトノ) /
芸劇ウィンド・オーケストラ** (吹奏楽) /東京交響楽団* (管弦楽)

曲目 小出稚子 /ウィンドアンサンブルのための玉虫ノスタルジア**
(バリトンサクソフロン版 世界初演)
I. ストラヴィンスキー (R.アールズ編曲) /組曲「火の鳥」(1919年版)**
O. メシアン /トゥーランガリーラ交響曲*

料金 【第1部】【全席指定】4,000円
【第2部】S:7,000円 / A:6,000円 / B:5,000円 /
C:4,000円 / 25歳以下 (前売のみ):2,000円
【通し券】(前売のみ)S:10,000円 / A:8,000円 / B:7,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

B 2日(月) 18:30開演

ウルトラマンシンフォニーコンサート2015

出演 矢澤定明 (Cond) /ウルトラマンシンフォニーオーケストラ

曲目 ウルトラマンシリーズ特捜隊より発進曲メドレー
円谷プロダクション特撮作品より主題歌メドレー

音楽と映像で蘇る「ウルトラマン交響曲(忍び寄る恐怖から勝利まで)」ほか
料金 SS:15,000円 / S:8,000円 / A:6,500円 / B:5,000円

TEL キョードー東京 0570-550-799

C 3日(火・祝) 14:00開演

パイオニア・ミューズ・コンサート2015

出演 松岡 究 (Cond) /佐橋美起 (Sop) /向野由美子 (Alt) /鈴木 准 (Ten) /
大川 博 (Bass) /パイオニア交響楽団 /パイオニア合唱団

曲目 ブラームス /悲劇的序曲
ワグナー /楽劇「トリスタンとイゾルデ」より「前奏曲と愛の死」
モーツァルト /レクイエム

料金 S:2,500円 / A:2,000円 / B:1,500円

TEL パイオニア合唱団事務局 080-3080-9941

Playhouse

A ~1日(日) 14:00開演

「DANCE SYMPHONY」
最終楽章~THE DANCERS~

出演 張敬月 (Zhang Aoyue) /東山義久 /DANIEL(荒井英之:元Kバレエカンパニー) /
西島数博 /水 夏希 /Special古琴演奏:鄧紅 (Deng Hong)

料金 【全席指定】S:8,800円 / A:7,000円

TEL キョードー東京 0570-550-799

Theatre East

A ~1日(日) 14:00開演

BOX

芸劇eyes てがみ座

「地を渡る舟 ―1945 /アチック・ミュージアムと記者たち―

作 長田育恵 (てがみ座) **演出** 扇田拓也

出演 福田温子 /今泉 舞 /箱田晚史 (以上 てがみ座) /清水 伸(ふくふくや) /俵木藤汰(ラッパ屋) /松本紀保 /三津谷 亮 /川面千晶 (ハイハイ) /
近藤フク(ベンギンブルベイルバリソ) /伊東 潤 (東京タンバリン) /森 啓一朗 (東京乾電池) /中村シユン /西山水木

料金 【全席指定】前売:4,000円 /当日:4,200円 /25歳以下:3,000円(入場時要証明書) **TEL** プリエール 03-5942-9025(平日11~18時)

Theatre West

A ~2日(月)

薔薇色のfrontier

脚本・演出 斎藤栄作

出演 小野建斗 /桜乃彩音 /山田幸伸 /平野勲人 /我 善導 /三宅祐輔 /塩澤英真 /宮垣佑也 /櫻井主登 /白華れみ /泉見洋平

料金 【全席指定】前売:6,500円 /当日:6,800円 **TEL** 有限会社レイネット 03-3481-0428

D 5日(木) 12:15開演

BOX

東京芸術劇場ランチタイム・
パイプオルガンコンサートVol.1 14

出演 川越聡子 (Org)

曲目 フレスコバルディ /『音楽の花束』より「ベルガマスカ」
バッハ /コラール「深き苦しみの淵より、われ汝を呼ぶ」BWV686
メンデルスゾーン /ノナタ 第3番 イ長調 Op.65-3
クーブラン /『敷居のためのミサ曲』より グローリア(第6曲)「テノールのティエルス」
デュリュフレ /ノゾン大聖堂のカリヨンの主題によるフーガ Op.12

料金 【全席自由】500円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

E 5日(木) 19:00開演

BOX

コンサートホール・エントランス(5階)

クラシカル・プレイヤーズ東京
室内楽演奏会シリーズvol.5
『ビリオド楽器による大作曲家の管楽合奏作品』

出演 お話=佐伯茂樹(クラシカル・プレイヤーズ東京トロンボーン奏者)
演奏=クラシカル・プレイヤーズ東京金管メンバー /有田正広 ほか

曲目 W.A.モーツァルト /2本のフルートと5本のトロンバット、
ティンパニのためのディヴェルティメント第6番ハ長調 K.188

L.v.ベートーヴェン /4本のトロンボーンのためのエクワレー ほか

料金 【全席自由】2,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

F 6日(金) 18:30開演

BOX

日本・ブルガリア・ポーランド文化交流演奏会
(第28回国際親善交流特別演奏会)

出演 及川光悦 (Cond) /ストイメン・ベエフ (Vn) /マリア・オルウォフスカ (Vc) /
モーツァルト・ウィルトゥオーソ・祝祭管弦楽団

曲目 シベリウス /交響詩「フィンランディア」
チャイコフスキー /ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク /チェロ協奏曲

料金 S:6,000円 / A:5,000円 / B:4,000円 /
TEL 日本音楽文化交流協会 03-3442-2325

G 7日(土) 18:30開演

BOX

立教大学交響楽団 第106回定期演奏会

出演 田中一嘉 (Cond) /立教大学交響楽団

曲目 ヴェルディ /歌劇「運命の力」序曲
エルガー /エニグマ変奏曲
シベリウス /交響曲 第2番

料金 S:1,500円 / A:1,000円

TEL 立教大学交響楽団チケット管理 080-5426-7506

H 8日(日) 15:00開演

BOX

東京芸術劇場&ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画
第6回音楽大学オーケストラ・フェスティバル

出演 武蔵野音楽大学 梅田俊明 (Cond) /洗足学園音楽大学:秋山和慶 (Cond)
曲目 武蔵野音楽大学 シベリウス /交響曲 第2番

洗足学園音楽大学 ムソルグスキー (ラヴェル編曲) /組曲『展覧会の絵』
料金 【全席指定】1回券:1,000円 /通し券:3,000円(限定200セット)

※通し券は、東京芸術劇場ボックスオフィス及び
ミューザ川崎シンフォニーホールでの窓口販売及び電話予約のみ取扱い。

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

I 11日(水) Closed・関係者のみ

創価学会富士交響楽団 新時代第6回定期演奏会

J 12日(木) 19:00開演

BOX

2015-2016 海外オーケストラシリーズⅡ

ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団

出演 グスターボ・ヒメノ (Cond) /ユジャ・ワフ (Pf) /ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団

曲目 チャイコフスキー /ピアノ協奏曲第2番、交響曲第6番「悲愴」
料金 S:26,000円 / A:21,000円 / B:16,000円 /
C:12,000円 / D:8,000円 / (SS:33,000円)

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

K 14日(土) 14:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第102回定期演奏会

出演 アンドレイ・アニハーフ (Cond) /上野通明 (Vc) /東京ニューシティ管弦楽団

曲目 ベートーヴェン /歌劇「フィデリオ」序曲
シューマン /チェロ協奏曲
ブラームス /交響曲第2番

料金 S:6,500円 / A:5,000円 / B:3,500円 / C:2,500円

TEL 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

L 15日(日) 15:00開演

BOX

東京芸術劇場&ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画
第6回音楽大学オーケストラ・フェスティバル

出演 上野学園大学:下野竜也 (Cond) /東京藝術大学:山下一史 (Cond)
曲目 上野学園大学 ストラヴィンスキー /管楽器のための交響曲 (1947年版)

ベルト /カントゥスーベン・ジャミン・ブリテンの思い出に
ブリテン /シンフォニア・ダ・レクイエム

東京藝術大学 R.シュトラウス /交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」Op.30, TrV176

料金 【全席指定】1回券:1,000円 /通し券:3,000円(限定200セット)

※通し券は、東京芸術劇場ボックスオフィス及び
ミューザ川崎シンフォニーホールでの窓口販売及び電話予約のみ取扱い。

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

東京芸術劇場
ボックスオフィス 0570-010-296

お問合せ

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

休館日を除く

10:00～19:00

M 16日(月) Closed・関係者のみ

第45回生徒と保護者のための音楽鑑賞会

N 17日(火) 19:00開演

BOX

～エル・システマ創設40周年記念～

エル・システマ・フェスティバル 2015 in TOKYO
テレサ・カレニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ

出演 クリステイアン・バスケス (Cond) /小曽根 真 (Pf) /
テレサ・カレニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ

曲目 R.シュトラウス /交響詩「ドン・ファン」 op.20
ラフマニノフ /バガニョニの主題による狂詩曲 op.43 (Pf:小曽根 真)

R.シュトラウス /交響詩「英雄の生涯」 op.40

料金 S:6,000円 / A:5,000円 / B:4,000円 / C:3,000円 / D:1,500円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 /

カジモト・イーブラス 0570-06-9960

O 18日(水) Closed・関係者のみ

多摩大学目黒中学・高等学校第九特別演奏会

P 19日(木) 19:00開演

BOX

2015-2016 海外オーケストラシリーズⅢ
フランクフルト放送交響楽団

出演 アンドレス・オロス・コエストラーダ (Cond) /アリス=紗良・オット (Pf)

フランクフルト放送交響楽団

曲目 グリッパ /歌劇「ルスランとリムドゥラ」序曲
チャイコフスキー /ピアノ協奏曲第1番

ブラームス /交響曲第1番
料金 S:15,000円 / A:12,000円 / B:9,000円 /
C:6,000円 / D:4,000円 / (SS席17,000円)

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Q 20日(金) 19:00開演

BOX

第19回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 オスモ・ヴァンスカ (Cond) /リーズ・ドゥ・ラ・サール (Pf) /
読売日本交響楽団

曲目 シベリウス /交響詩「フィンランディア」
ラフマニノフ /ピアノ協奏曲 第2番

シベリウス /交響曲 第2番
料金 S:7,200円 / A:5,100円 / B:4,100円 / C:3,000円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

C 21日(土)～23日(月・祝)

BOX

Festival/Tokyo15
「地上に広がる大空(ウェンディ・シンドローム)」

作・演出・美術・衣裳 アンジェリカ・リアル(アトラ・ピリス・テアトロ)

料金 【全席指定】前売:5,500円(当日+500円)

TEL F/Tチケットセンター 03-5961-5209

11月 21 22 23
土 日 月
14:00
18:00 ● ★

★=プレバパフォーマンスークあり

C 13日(金)～15日(日)

無料

アジア舞台芸術祭2015

料金 入場無料

TEL 東京都生活文化局文化振興部
企画調整課アジア舞台芸術祭 03-5388-3150

C 14日(土)～29日(日)

舞台「From Chester Copperpot」
―[The Tempest]―[Cornelia]―[NEW WORLD]

作・演出 西田大輔 **出演** 西田大輔 /田中良子 /村田洋二郎 /佐久間祐人 ほか

料金 【全席指定】前売当日:6,500円 **TEL** 株式会社ディスクーニー 03-6303-2690

R 21日(土) 15:00開演

BOX

～エル・システマ創設40周年記念～

エル・システマ・フェスティバル 2015 in TOKYO
テレサ・カレニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ

出演 クリステイアン・バスケス (Cond) /
テレサ・カレニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ

曲目 バーンスタイン /《キャンディード》序曲
ヒナステラ /バレエ《エスタンシア》op.8から 舞曲
カルロス・チャベス /シンフォニア・インディア

ベリリオース /幻想交響曲 op.14
料金 S:6,000円 / A:5,000円 / B:4,000円 / C:3,000円 / D:1,500円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 /
カジモト・イーブラス 0570-06-9960

S 22日(日) 14:00開演

BOX

歌手生活40周年記念

郡 愛子リサィタル 和の詞、和の響、和の心

出演 郡司 博 (Cond) /郡 愛子 (M.Sop)

曲目 この道、からたちの花、初恋、年輕のふるさと、
オペラ「すて姫」より「すて姫の子守歌」、
オペラ「美上」より「春は華やぐ花の宴に」、

オペラ「静と義経」より「都へ帰りましょう」、中国地方の子守歌 ほか
料金 S:6,000円 / A:4,500円 / B:3,000円 / C(学生席):2,000円

TEL 株式会社音楽事務所サウンド・ギャラリー 03-3398-5631

T 23日(月・祝) 14:00開演

NTTフィルハーモニー管弦楽団 第38回定期演奏会

出演 小森康弘 (Cond) /長原幸太 (Vn) /奥泉貴志 (Vc) /
NTTフィルハーモニー管弦楽団

曲目 ブラームス /ヴァイオリンとチェロのための2重協奏曲
ドビュッシー /海

ラヴェル /ラ・ヴァルス
料金 【全席指定】1,500円

TEL NTTフィルハーモニー管弦楽団事務局 090-4608-1024

U 24日(火)～25日(水) Closed・関係者のみ

オカムラグラントコンサート2015

休館日 9日(月)・10日(火)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。

また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。

※原則未就学児のご入場はお断りしています。

※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。

※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

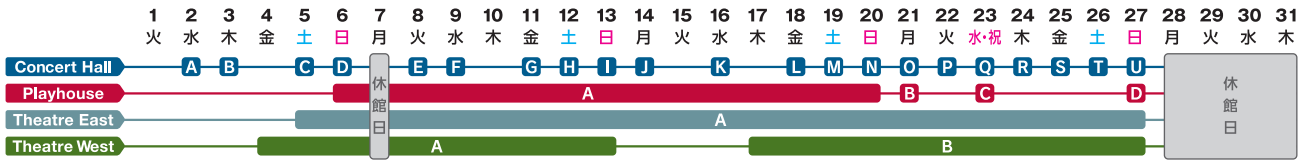
V 26日(木) 18:30開演

BOX

～華麗なる協奏曲とアリアのタベ～
ベートーヴェン・プログラム

出演 新田 孝 (Cond) /上野優子 (Pf) /金井隆子 (Sop) /瀬川祥子 (Vn) /

12
DEC



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラノ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/ファゴット(Fg)/

A 2日(水) 19:00開演 BOX

武蔵野音楽大学管弦楽団合唱団演奏会

出演 飯守泰次郎(Cond)/森谷真理(Sop)/曾我雄一(Ten)/谷 友博(Bar)
曲目 モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク
オルフ/世俗の賛歌『カルミナ・ブラーナ』
料金 【全席指定】1,500円
TEL 武蔵野音楽大学演奏部 04-2932-3108

B 3日(木) 18:00開演 BOX

東京音楽大学付属高等学校
ユニセフ・チャリティーコンサート

出演 アンドレ・アンリ(Cond, Tp)/広瀬宣行、坂本和彦、三原明人(Cond)/
清水理恵(Sop)/藤田真央(Pf)/東京音楽大学付属高等学校生徒・教員
曲目 マスネ/歌劇『タイス』より「タイスの瞑想曲」
武満 徹/小さな空
シュトラウス(2世)/オペレッタ『こもり』より
ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲
料金 【全席指定】1,000円
TEL 東京音楽大学付属高等学校チャリティーコンサート係 03-3945-6214

C 5日(土) 14:00開演 BOX

東京佼成ウインドオーケストラ
第126回定期演奏会

出演 トーマス・ザンデルリンク(Cond)/東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 ボロティン(ハインズレイ編)/歌劇『イーゴリ公』から「ダッタン人の踊り」
リード/ロシアのクリスマス音楽
リムスキー=コルサコフ(堀垣卓三編)/交響組曲『シェラザード』
S:7,000円/A:5,500円/B:4,000円/C:1,000円
TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

D 6日(日) 14:30開演

東京フロイデ合唱団 第18回演奏会

出演 小松長生(Cond)/石上朋美(Sop)/小泉詠子(M.Sop)/福井 敬(Ten)/
成田博之(Bar)/日本フィルハーモニー交響楽団/東京フロイデ合唱団
曲目 ワグナー/楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より「第一幕への前奏曲」
ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」
料金 S:5,000円/A:4,000円/B:3,000円/C:2,000円/D:1,000円
TEL 東京フロイデ合唱団 03-5940-0731

Playhouse

A 6日(日)~20日(日) BOX

寺山修司生誕80年 音楽劇「レミング~世界の涯まで連れてって~」

作 寺山修司 演出 松本雄吉(維新派) 上演台本 松本雄吉/天野天街(少年王者館) 出演 満端淳平/柄本時生/霧矢大夢/鷹 赤兒 ほか
料金 【全席指定】S:8,600円/A:7,500円/U-25チケット:5,000円/高校生割引チケット:1,000円 TEL バルコ 03-3477-5858

Theatre East

A 5日(土)~27日(日) BOX

寺山修司生誕80年 Roots Vol.03

「書を捨てよ町へ出よう」

作 寺山修司 上演台本・演出 藤田貴大(マームとジブシー)
出演 村上虹郎 青柳いづみ 川崎ゆり子 斎藤草子 沼田美子 吉田聡子 石井亮介 尾野島慎太郎 中島広隆 波佐谷 聡 船津健太/山本達久 映像出演 穂村 弘(歌人)/又吉直樹(芸人)
料金 【全席指定】一般前売:4,800円/一般当日:5,300円/25歳以下:3,800円/65歳以上:4,300円/高校生割引:1,000円 TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い。(枚数限り・要証明書)

Theatre West

A 4日(金)~13日(日) BOX

フェードル

作 ラシーヌ 脚本 笹部博司 脚本・演出 青山真治
出演 とよた真帆/松田 凌/高橋 洋/馬淵英俤可/中島 歩/堀部圭亮
料金 【全席指定】前売当日:5,500円
TEL 有限会社ジェイ、クリップ 03-3352-1616

E 8日(火) 19:00開演 BOX

ショパン・ガラ

出演 清水雄太(Cond)/ゲオルギ・オソキンス、アレクサンドロ・マツァムット(Pf)/
東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ショパン(グラスノフ)/ショピニアーナ、ショパン/ピアノ協奏曲第1番第2番
料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円
TEL 東京ニューシティ管弦楽団 03-5933-3266

F 9日(水) 18:20開演 BOX

第54回立教大学メサイア演奏会

出演 増田宏昭(Cond)/佐竹由美(Sop)/渡辺敦子(Alt)/
小貫岩夫(Ten)/久保和範(Bar)/立教大学グリークラブ/
立教学院諸聖使礼拝堂聖歌隊/立教大学交響楽団/一般参加合唱者
曲目 ヘンデル/メサイア
料金 S:2,500円/A:2,000円/B:1,000円/
Aペア:3,000円/Bペア:1,500円/学生:500円
TEL 立教大学池袋キャンパスチャペル会館2階ロビー 03-3985-2683

G 11日(金) 19:00開演 BOX

久石譲 第九スペシャル2015

出演 久石 譲(Cond)/林 正子(Sop)/谷口睦美(M.Sop)/
村上敏明(Ten)/堀内康雄(Bar)/栗友会/読売日本交響楽団
曲目 久石 譲/新Orbis~混声合唱、オルガンとオーケストラのための〜
ベートーヴェン/交響曲第9番 短調 作品125「合唱付き」
料金 S:9,200円/A:8,200円
TEL 第一通信社 03-3237-4127

H 12日(土) 14:00開演

財団設立30周年記念事業/としま区民芸術祭/区民でつくる演奏会
いっぽ・イッポ・み・ら・い・へXI
~G.Verdi/Messa da Requiem~

出演 坂本和彦(Cond)/森 麻季(Sop)/佐野成宏(Ten)/
串田淑子(M.Sop)/高橋啓三(Bass)/
としまユングフェスタオーケストラ
曲目 ヴェルディ/レクイエム
料金 【一般】S:4,000円/A:3,500円/B:2,500円
【友の会】S:3,500円/A:3,000円/B:2,000円/学生:500円
【しまみらいチケットセンター 03-3590-5321

I 13日(日) 15:30開演

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団
第140回定期演奏会

出演 佐藤正浩、辻 博之、豊福裕亮(学生)(Cond)/
慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団
曲目 第1ステージ『アッシジの聖フランチェスコの4つの小さな祈り』『サルタレロ』
第2ステージ『学生ステージ(仮)』
第3ステージ『ミュージカルステージ(仮)』
第4ステージ『男声合唱とピアノのための「祈りの虹」』
料金 S:2,500円/A:2,000円/B:1,000円
TEL チケット担当(中島) 080-4718-3151

J 14日(月) 18:30開演 BOX

武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル演奏会

出演 リチャード・K・ハンセン(Cond)/
武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル
曲目 パーシケツティ/吹奏楽のための詩編
エレビー/パリのスケッチ
ボザ/森にて(ホルン独奏=丸山 勉)
料金 【全席指定】1,500円
TEL 武蔵野音楽大学演奏部 04-2932-3108

K 16日(水) 19:00開演 BOX

東京芸術劇場パイプオルガンコンサートVol.20
~聖夜に贈るクリスマス・オラトリオ~

出演 青木洋也(Cond, C.Ten)/小林英之、新山恵理、平井靖子、
川越聡子(Org)/片岡詩乃(Hp)/清水 梢、大田菜里、
小林 恵、大森彩加(Sop)/高橋幸恵、奥石まりあ、
朝倉麻里亜、佐々木香菜子(Alt)/豊原 奏、及川 豊、
吉田 宏(Ten)/加末 徹、杉山範雄、小池優介(Bass)/
フィルハーモニーカンマーアンサンブル
曲目 ブクステフーテ/コラール「暁の星はいと美しきかな」BuxWV223
J.S.バッハ/前奏曲とフーガ 八長調 BWV547
ギルマン/ヘンデルの「頭を上げよ」による宗教的行進曲 Op.15.2
ボーヴァルレ・シャルバンティエ/マニフィカート 第6旋法
グランジャンニー/古典様式のアリア
サン=サーンス/クリスマス・オラトリオ Op.12
料金 一般:3,000円/ペア券(前売のみ):5,000円/25歳以下:2,000円
※25歳以下チケットは、劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い。(要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場
ボックスオフィス **0570-010-296** 休館日を除く
10:00~19:00
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

L 18日(金) 19:00開演

一橋大学管弦楽団 第63回定期演奏会

出演 鈴木優人(Cond)/大木麻理(Org)/一橋大学管弦楽団
曲目 デュカス/交響的スケルツォ『魔法使いの弟子』
ブーランク/バレエ組曲『牝鹿』
サン=サーンス/交響曲第3番『オルガン付』
料金 【一般】S:1,000円/A:500円/B:0円
【学生】S:500円/A:0円/B:0円
TEL 一橋大学管弦楽団広報担当 050-5586-1980

M 19日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第182回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 上岡敏之(Cond)/イリーテ・マルティネス(Sop)/
清水華澄(M.Sop)/吉田浩之(Ten)/オラファ・シグルザルソン(Bar)/
新国立劇場合唱団/読売日本交響楽団
曲目 ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」
料金 S:9,200円/A:7,200円/B:5,100円/C:3,000円/ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

N 20日(日) 14:30開演 BOX

日本フィル 第215回サンデーコンサート

出演 大友直人(Cond)/オッタビーア・クリストフォリ(Tp)/
青木エマ(Sop)/小川明子(Alt)/錦織 健(Ten)/宮本益光(Bar)/
日本フィルハーモニー交響楽団/日本フィルハーモニー協会合唱団
曲目 ロベルト/トランペット協奏曲(世界初演)
ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」
料金 S:8,700円/A:7,500円/B:6,700円/C:5,700円/Gs:5,700円/Ys:3,500円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

O 21日(月) 19:00開演

常任指揮者就任50周年記念

上智大学管弦楽団 第101回定期演奏会

出演 汐澤安彦(Cond)/稻見里恵(Sop)/牧野真由美(Alt)/
高橋 淳(Ten)/清水良一(Bar)/上智大学管弦楽団
曲目 ドヴォルザーク/序曲『謝肉祭』
ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」
料金 【全席指定】1,500円
TEL 演奏会担当 小林 090-6136-6983

B 21日(月) 19:00開演

林家たい平独演会

料金 【全席指定】3,600円
TEL 夢空間 03-5785-0380

P 22日(火) 18:45開演

中央大学管弦楽団 第74回定期演奏会

出演 佐藤寿一(Cond)/中央大学管弦楽団
曲目 ベルリオーズ/幻想交響曲
チャイコフスキー/幻想序曲『ロメオとジュリエット』
ドリーブ/組曲『コッペリア』より
「前奏曲とマズルカ」、「間奏曲とワルツ」
料金 【全席指定】1,000円
TEL 総務 080-4913-7803

Q 23日(水・祝) 14:00開演 BOX

都響スペシャル「第9」

出演 エリアフ・フィンバル(Cond)/安藤赴美子(Sop)/中島郁子(Alt)/
大槻孝志(Ten)/甲斐栄次郎(Bar)/二期会合唱団 東京都交響楽団
曲目 ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」
料金 S:8,000円/A:7,000円/B:6,000円/C:5,000円/Ex:2,200円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

R 24日(木) BOX

クリスマス/アヴェマリア
サンクトペテルブルグ室内合奏団
13:00開演

出演 マリーナ・トレグボヴィチ、ナタリア・マカロワ(Sop)/
サンクトペテルブルグ室内合奏団
曲目 パッパ= (グノー)、シューベルト、カッチーニ(3大アヴェ・マリア)
パッパ/G線上のアリア パッヘルベル/カノン
ヴィヴァルディ/『四季』より「冬」ほか
料金 【全席指定】4,500円
TEL 光藍社チケットセンター 050-3776-6184

クリスマス・スペシャル・クラシックス
ミハイロフスキー劇場管弦楽団
19:00開演

出演 ミハイロフスキー劇場管弦楽団
曲目 ヘンデル/『メサイア』より「ハレルヤ・コーラス」
シューベルト/アヴェ・マリア
ベートーヴェン/歓喜の歌(「第九」四楽章) ほか
料金 S:11,000円/A:9,000円/B:7,000円
TEL 光藍社チケットセンター 050-3776-6184

休館日 7日(月)・28日(月)~31日(木)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

S 25日(金) 19:00開演 BOX

第20回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 上岡敏之(Cond)/イリーテ・マルティネス(Sop)/
清水華澄(M.Sop)/吉田浩之(Ten)/
オラファ・シグルザルソン(Bar)/新国立劇場合唱団/
読売日本交響楽団
曲目 ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」
料金 S:9,200円/A:7,200円/B:5,100円/C:3,000円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

T 26日(土) 18:00開演 BOX

日本フィル
第九特別演奏(サンデースペシャル)

出演 小林研一郎(Cond)/石丸由佳(Org)/菅 英三子(Sop)/
栗林朋子(Alt)/錦織 健(Ten)/青戸 知(Bar)/
日本フィルハーモニー交響楽団/武蔵野合唱団
曲目 ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」ほか
料金 S:8,700円/A:7,500円/B:6,700円/C:5,700円/
Gs:5,700円/Ys:3,500円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

U 27日(日) 14:30開演 BOX

日本フィル 第216回サンデーコンサート

出演 小林研一郎(Cond)/石丸由佳(Org)/菅 英三子(Sop)/
栗林朋子(Alt)/錦織 健(Ten)/青戸 知(Bar)/
日本フィルハーモニー交響楽団/日本フィルハーモニー協会合唱団
曲目 ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」ほか
料金 S:8,700円/A:7,500円/B:6,700円/C:5,700円/
Gs:5,700円/Ys:3,500円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

D 27日(日) 10:20開演 無 料

東京都特別支援学校
第24回総合文化祭「舞台芸術・演劇祭」

料金 【全席自由】入場無料
TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111

10・11・12

OCT NOV DEC

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ | 東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く
10:00～19:00

Gallery 1 (5F)				
10	1日(木)～4日(日) 第23回 臨書と自由書作品展 一紙と話すー TEL 高橋 03-3371-5123	7日(水)～13日(火) Gallery 1-2 同時開催 「勇気の証言ーホロコースト& アンネ・フランクと杉原千敏の選択」展 TEL 「勇気の証言ーホロコースト展」実行委員会 042-691-9442(創価大学企画広報課)	16日(金)～18日(日) 村上勇子と仲間たち TEL 藤縄 04-2957-7699	20日(火)～26日(月) 秋の日本水墨画展 TEL 竹中 048-474-2239
	28日(水)～11月1日(日) 第14回 銀粘土でつくるシルバー アクセサリーコンテスト TEL アートクレイ倶楽部 岩橋 042-366-8771			
11	3日(火・祝)～8日(日) Gallery 1-2 同時開催 いけば花2015 古流松蔭会展 料金 500円 TEL 古流松蔭会 03-3815-2845	12日(木)～16日(月) 第18回 公募インテリアの書展 TEL 岩田 049-284-4311	18日(水)～22日(日) Gallery 1-2 同時開催 第28回 東京都高等学校 文化連盟書道展 TEL 都立江北高校定時制 矢口 03-3880-3411	23日(月・祝)～26日(木) 十人十色百慧百煙 栄美子戸田ローブと ニューゼファースキルト展 TEL ニューゼファース事務局 三沢 042-491-0797
	27日(金)～12月1日(火) Gallery 1-2 同時開催 としま区民芸術祭 豊島区総合美術館 TEL 公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課プランセクション 03-3590-7118			
12	2日(水)～6日(日) 楽書会書展 第14回 東京展 TEL 加藤 080-5672-1168	9日(水)～14日(月) 第16回 上野彦馬賞九州産業大学 フォトコンテスト受賞作品展 TEL 毎日新聞西部本社事業部 092-781-3636	16日(水)～19日(土) 第34回 肢体不自由児・者の 美術展 TEL 吉原 03-5995-4511	20日(日)～24日(木) 琳派400年記念展 ～光悦・宗達・光琳を偲んで～ TEL 藝術出版社 03-3464-4451
	26日(土)～27日(日) Gallery 1-2 Atelier East-West 同時開催 第1回 池袋鉄道模型芸術祭 TEL 日本鉄道模型の会 03-6914-3581			

Gallery 2 (5F)				
10	1日(木)～4日(日) 無料 出会った仲間たちとの「Fu・ふ・布」な パッチワークキルト作品展 TEL 小倉 03-5273-0210	7日(水)～13日(火) Gallery 1-2 同時開催 「勇気の証言ーホロコースト& アンネ・フランクと杉原千敏の選択」展 TEL 「勇気の証言ーホロコースト展」実行委員会 042-691-9442(創価大学企画広報課)	17日(土)～18日(日) 無料 龍生派東京第五地区いけばな展 TEL 岡本 043-462-8486	21日(水)～25日(日) 無料 第3回 心和書道会小品展 TEL 庭野 048-479-4440
11	3日(火・祝)～8日(日) Gallery 1-2 同時開催 いけば花2015 古流松蔭会展 料金 500円 TEL 古流松蔭会 03-3815-2845	11日(水)～15日(日) 無料 現代水墨画 今岡紫雲英 グループ展 TEL 鈴樹 03-3929-7540	18日(水)～22日(日) 無料 Gallery 1-2 同時開催 第28回 東京都高等学校 文化連盟書道展 TEL 都立江北高校定時制 矢口 03-3880-3411	23日(月・祝)～27日(金) 無料 「サバンナを訪ねて」写真展 TEL 伊室 03-3311-9715
12	4日(金)～6日(日) 無料 デコラシオン ドフルール 20周年記念展示会「MY Anniversary」 TEL 根本 デコラシオン ドフルール 03-5996-7348	26日(土)～27日(日) 無料 Gallery 1-2 Atelier East-West 同時開催 第1回 池袋鉄道模型芸術祭 TEL 日本鉄道模型の会 03-6914-3581	29日(日)～12月1日(火) 無料 Gallery 1-2 同時開催 としま区民芸術祭 豊島区総合美術館 TEL 公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課プランセクション 03-3590-7118	

Atelier East (B1F)					
10	6日(火)～11日(日) 第12回 アートるるの会作品展 TEL 鈴木 048-478-7735	12日(月・祝)～18日(日) フォトクラブ・ゼルコバ 第1回写真展 TEL 加藤 090-8946-4768	20日(火)～25日(日) 第23回 銅版画展 TEL 志村 03-3939-2417		
11	3日(火・祝)～8日(日) 2015・秋展 TEL 上田 042-398-0810	11日(水)～16日(月) 第4回 火洋会 TEL 天辻 042-421-2951	18日(水)～23日(月・祝) フェスティバル/トーキョー15 トーク・映像上映・関連展示 ほか TEL フェスティバル/トーキョー15 実行委員会事務局 03-5961-5202	24日(火)～29日(日) フェスティバル/トーキョー15 トーク「ポーランドの現在形」ほか TEL フェスティバル/トーキョー15 実行委員会事務局 03-5961-5202	
12	1日(火)～6日(日) 伊勢形染職人・極みの技術・ 大野信幸50年展 TEL 大野 090-3353-9858	9日(水)～13日(日) Atelier East-West 同時開催 第4回「つながる。陸前高田と立教大学」交流展 ～3.11東日本大震災を忘れないために～ TEL 立教大学教学連携課 03-3985-2204	17日(木)～24日(木) BOX コントロールと二十世紀 「タニノとドワーフ達による コントロールに捧げるオマージュ」 TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	26日(土)～27日(日) Gallery 1-2 Atelier East-West 同時開催 第1回 池袋鉄道模型芸術祭 TEL 日本鉄道模型の会 03-6914-3581	

Atelier West (B1F)					
10	2日(金)～4日(日) いけばな小原流東京支部 北地区・埼玉地区花展 TEL 奥住 03-3939-7702	7日(水)～11日(日) 酒井康堂・子遠一門会 忘形印社展 TEL 周 080-6670-0567	13日(火)～18日(日) 飛行機のある風景 TEL 柳堀 080-2032-9414	20日(火)～25日(日) 矢澤利彦絵画展 TEL 矢澤 03-5951-6908	
	3日(火・祝)～8日(日) 第30回 新生会展 TEL 加山 03-3930-2035	11日(水)～16日(月) 2015三軌会写真部 第9回東京多摩支部展 TEL 塚田 090-4953-3162	18日(水)～22日(日) Jiyucolor ー生きるー TEL Jiyucolor事務局 090-9128-2419	24日(火)～26日(木) 第11回「もっと帯ない」展覧会 TEL 鈴木 090-3691-0055	28日(土)～1日(火) 第23回 希風会書作展 TEL 庭野 048-479-4440
12	2日(水)～6日(日) 写真集団「創造ネット」写真展 第10回「向かい風」 TEL 高橋 047-386-4405	9日(水)～13日(日) Atelier East-West 同時開催 第4回「つながる。陸前高田と立教大学」交流展 ～3.11東日本大震災を忘れないために～ TEL 立教大学教学連携課 03-3985-2204	16日(水)～20日(日) 紛争地域から生まれた演劇シリーズフ リーディング&レクチャー 料金 有料。事前申込み TEL 国際演劇協会日本センター 03-3478-2189	26日(土)～27日(日) Gallery 1-2 Atelier East-West 同時開催 第1回 池袋鉄道模型芸術祭 TEL 日本鉄道模型の会 03-6914-3581	

集まれ!池袋みんなの大道芸

9月～11月の週末 12:00～18:00 劇場前広場

無 料

詳細はHPへ



一流のストリートパフォーマンスを劇場前広場で。

「集まれ!池袋みんなの大道芸」が引き続き9月より開催中。第一線で活躍する選りすぐりのストリートパフォーマーたちの作り出す空間の魅力をぜひ味わいにお越しください。ボールやディアボロなどに大人も子どももチャレンジできる「チャレンジ広場」も同時開催。皆様のお越しをお待ちしています!

【日程】10月3日(土)／4日(日)／12日(月・祝)／24日(土)／25日(日)
11月7日(土)／8日(日)

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区

ストリートアーティスト・アカデミー2015冬期

11月3日(火)～12月24日(木) 劇場前広場／リハーサルルーム

無 料

詳細はHPへ



街に、世界に、誰も見たことのない景色をつくりにいこう。

東京芸術劇場では、街の雰囲気を変え、行き交う人々に感動を与えてくれるストリートパフォーマーを生み出すこと、レベルアップをしたいと考えているパフォーマーを支援することを目的に「ストリートアーティスト・アカデミー」を開講しています。我こそはと思うアーティストの皆様のご参加をお待ちしています!また、火・木の昼に劇場前広場でおこなわれる受講生によるパフォーマンスも是非お楽しみください!

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区

東京芸術劇場×ITI共催 紛争地域から生まれた演劇シリーズ フリーディング&レクチャー

12月16日(水)～20日(日) アトリエウエスト

有 料

詳細はHPへ



写真:石澤和祐子

ITI(国際演劇協会)日本センターによる『国際演劇年鑑』の調査・研究事業の一環として、海外で発表された優れた戯曲を発見・翻訳し、リーディングとレクチャーでご紹介するシリーズ。今回はシリア、フィリピン、ナイジェリアから日本初訳・初演3作品を取り上げます。

上演作品
シリア／『夕食の前に』(原題『Qabl Al Aasha(Before Dinner)』) 作:ヤーセル・アブー＝シャクラ
フィリピン／『イスマイルとイサベル(仮題)』(原題『Ismail at Isabel』) 作:ロディ・ヴェラ
ナイジェリア／『狂人と専門家』(原題『Madmen and Specialists』) 作:ウォレ・ショインカ
※各回上演終了後レクチャーを実施予定。(最終日は特別講演『紛争と演劇』を実施予定)

【料金】各回1,500円

【お問合せ】国際演劇協会日本センター 03-3478-2189 <http://iti-japan.or.jp/>

主催:文化庁／公益社団法人国際演劇協会日本センター
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

第4回「つながる。陸前高田と立教大学」交流展 ～3.11東日本大震災を忘れないために～

12月9日(水)～13日(日) アトリエイースト・アトリエウエスト

無 料

詳細はHPへ



東日本大震災後、震災の記憶が日々風化していく現在、東北へのバスのゲートウェイに位置する劇場として、また、連携協力している立教大学が陸前高田への支援活動を継続しておこなっていることから、これまでに引き続き、被災地・陸前高田の現状と課題を広く伝えること、また、立教大学の支援活動を紹介することを目的に展覧会を実施致します。

【お問合せ】立教大学 教学連携課 03-3985-2204

主催:立教大学
共催:陸前高田市／東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

第1回 池袋鉄道模型芸術祭

12月26日(土)～27日(日) ギャラリー1・2/アトリエイースト・ウエスト 池袋西口公園等

無 料

詳細はHPへ



鉄道の持つ夢やロマンを目の前に再現し、多くの人達の心をときめかせてきた鉄道模型。「池袋鉄道模型芸術祭」は、そんな日本のトップレベルモデラーの鉄道模型作品が一同に会するイベント。実物の蒸気機関車も登場。劇場前でデモ運転し、師走の池袋に汽笛が鳴り響く予定です。

【お問合せ】日本鉄道模型の会 03-6914-3581

主催:日本鉄道模型の会
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

HIDEKI NODA KOHEI NAKA

野田秀樹

VOICE.13

ONE'S
voice

野田秀樹 × アイタイヒト

名和晃平

変容する舞台と身体が織りなす文化サーカス構想

独自の「PixCell」という概念をもとに先鋭的な作品を展開する彫刻家・名和晃平さん。

芸術監督・野田秀樹と共にコラボレーションに取り組む文化事業プロジェクト

『東京キャラバン』に向けて、ブラジル視察から帰国した2人に聞いた、その壮大かつ愉快的構想とは？

舞台は人間の肉体と空間の彫刻。

ガラスビーズやプリズム、発泡ポリウレタン、シリコンオイルなどさまざまな素材を、情報社会特有の浮遊する感覚や流動的思考のメタファーとして使うことで、身体や知覚のリアリティを表現してきたアーティスト・名和晃平さん。2009年には、京都の宇治川沿いにある旧サンドイッチ工場を自分たちの手でリノベーションした「クリエイティブ・プラットホーム SANDWICH」を立ち上げ、多くのスタッフや海外から滞在制作に訪れる作家たちと共に活動している。

芸術監督・野田秀樹との出会いは、2020年に向けて始動したプロジェクト『東京キャラバン』でのコラボレーション。まずは2015年10月8日～10日に、駒沢オリンピック記念公園での公開ワークショップを行い、2016年夏、五輪開催中のリオデジャネイロを皮切りに、東京キャラバン隊が国内外に出現し、文化芸術を運んでいく“文化サーカス”構想を視野に入れての対話は、未知のプロジェクトの可能性にあふれていた。

野田 名和さんは無菌室って入ったことある？

名和 精密機械工場に見学に行ったことがあるんですが、そのとき白い防護服みたいなものを着て入ったのが、たしか無菌室でしたね。

野田 名和さんのつくりあげる作品には、どこか無菌の感覚がありますよね。このあいだの個展で、黒いシリコンオイルがとめどなく降り注ぐインスタレーション作品(『Force』)を観たときもそんなふうに感じました。

名和 たしかに無菌状態を思わせるかもしれませんね。特にあの作品は、とても緻密な設計構造でつくられていて、ちょっとでも異物が混入すると、最適な粘度に調合したシリコンオイルが潤滑に流れなくなるんです。

野田 演劇の場合は、どうしても人間ありきの現場なんで、無菌というわけにはいきません。人類の祖先自体がいてみれば菌みたいなものですから、菌類の末裔が演劇をやっているわけです(笑)。舞台美術は身体がそこに入って初めて完成するものだけど、名和さんは彫刻家として、人間の肉体をどれくらい意識しているのかな？ リアルな人体がそこに介在していなくても、非常に完成度の高い作品だと思うんだけど。

名和 さっき『cocoon』を観劇して思ったんですが、演劇も彫刻も、その全体像に人間がどう関わるかだと思うんです。今日の舞台は正面性がなく三方を囲まれていて、観客も演技者も同じ位置づけで、その空間の中に集約されていました。特に暗転した場面では、舞台上の大勢の役者たちの身体の運動と、呼吸する群衆の気配が同時に伝わってきます。舞台というのは観客の座席を含めた空間的な彫刻なんだな、と思いながら観察していました。



野田 今、名和さんと取り組んでいる『東京キャラバン』の構想にも、そのアイデアを活かせるといいですね。考えれば考えるほどアイデアを思いつくけど、思いつけば思いつくほどオカネもかかることもわかってきましたが(笑)。

異種コラボレーションとその手応え。

野田 名和さんは、演劇の仕事だけやっていたらなかなか出会えないタイプの人です。ぼくが考えるような造形とは、完璧に違う方向からアプローチするアーティストだと思いました。これどうやってつくるの？と聞いたら、案の定、まったく違う角度から造形している。

演劇はまず言葉、台本ありきのもので、そこからイメージをつくっていくわけですが、名和さんのやっていることは、むしろぼくが台本を書く以前の作業に近いのかもしれない。たとえば、一滴の水がおちて変容していく、その形から考える。水平、垂直、重力といった、非常に概念的なところから入っていく。
名和 野田さんのおっしゃるように、彫刻と演劇には、空間をどうするかという共通のテーマがあります。今回『東京キャラバン』では、フォーマットから新しいものをつくらうとしていますけど、演劇と美術では受け入れる箱が違うので、両者のあいだにあるものを目指したいですね。お互いのポキャラリーや方法論を重ねたり、ぶつけたりしながらつくっていくおもしろさがある。その手応えをすでに感じています。

野田 まだまだ不安が7割？ でも楽しみも7割。合わせて14割(笑)。

名和 野田さんと話していてもおもしろいのは、どんどん新しい場面が出てくるんですね。すべてに動きがあって、常に流れていく。彫刻は本来動かないものなので、それをどうおとしこみ、動かすか。そこがチャレンジだと思ってるんです。舞台上に彫刻が巻き込まれて、30分とか1時間のあいだに、舞台美術もみるみる変化する作品になるかもしれません。

作る過程でドキドキさせる文化のサーカス。

野田 リオデジャネイロで視察した、海のそばにある巨大な工場のような空間で、その変容する舞台彫刻が実現すればすごいね。ひと言でいえば、これはキャラバン型のパフォーマンスイベントであり、世界各地で巡回する(文化大サーカス)なんです。普段は劇場にわざわざ出向かないような人たちのところに、こちらから出かけていって押し売ります(笑)。

ライブのおもしろさって、サーカスでいえば空き地にテントを作っている過程ですでに人をドキドキさせるというところにありますよね。東京は毎晩イベントが起こっているけど、そこをピンポイントで目指す人だけでなく、もっと多くの人を巻き込んでいきます。それはもしかしたら世の中の流れに

は逆行しているのかもしれないけど、ぼくらは抗う最後の世代ですから。アナログ世代からの反乱(笑)。

名和 野田さんの言われたように、キャラバン隊が移動する(交通)によって、文化が生まれ、芸術が変容していく。さらに国や地域を超えて、さまざまな芸術が乗っかってくるプラットフォームがくれたらいいですね。その最終的な形は舞台でもいいし、展覧会でもいい、あるいは音楽でもいい。できるだけ縛りのないコンセプトがおもしろいと思っています。

野田 極端なことをいえば、食とビールと音楽さえあれば、キャラバンは簡単にできるし、人は集まるんです。でもそれだけに留まるんじゃないくて、もう少し先の新しい文化にチャレンジしたい。たとえば、名和さんのシリコンオイルの作品『Force』を見せるなら、その場所で制作の過程が見えてもおもしろいかもかもしれませんね。

パート、半分はパブリックな施設です。

以前は制作現場を人に見せるのはあまり好きじゃなかったんですが、やってみてわかったのは、想像以上にクリエイティブなことが起こりやすくなるということ。企画をもっていけば何かなる、クリエイティブプラットフォームともいえる場所が発生します。

もちろんそこからもう一度、個人の活動に戻る時間が必要です。これまでも、自分自身のなかから生まれてきた作品のコンセプトをプロジェクト化することで実現してきました。チームごとに分断化することが刺激になって、発想が格段に広がり、技術も発展し、表現がジャンプします。経験を積んでいけば、大規模のプロジェクトでもイメージを組み立てられることがわかってきて、以前のように規模に対して臆することがなくなりました。

野田 ぼくも『夢の遊眠社』を主宰していた頃は、今からは考えられないほど

これでいく、というものを先に決めることが大事です。たとえば、これは紙でいく、これは椅子50脚でいく、というように、その作品にいちばん合う素材やビジュアルを見つけます。でもね、舞台美術や役者の身体というフィジカルなイメージから新たな選択肢が生まれて、思い切ってそっちへ飛び込んでみよう、ということもあるんです。

ロンドンで公演した作品『THE BEE』では、僕は、はじめ紙が素材の舞台にしたかったのですが、東ドイツの舞台美術家がろう細工のようなステージを作り、その下に役者が使うものと同じ小道具を埋め込んだ。それを見て、足の下に過去にすでに起きている事件が何層にも重なっている、と感じた。これは、日本人が紙を素材に使っていは考えつかない、ベルリンの壁を経験したヨーロッパの発想だと思いました。

『赤鬼』という作品ではタイの役者たちを起用しましたが、日比野克彦さんか

今回のアイタイヒト

野田秀樹 HIDEKI NODA

のだ・ひでき 1955年、長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成。92年劇団解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『バンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』などの話題作を発表。歌舞伎『野田版 研辰の討たれ』などで、故 中村勘三郎丈と組み、好評を博した。国内のみならず海外でも精力的な創作活動を展開。15年11月、モーツァルト歌劇『フィガロの結婚』～庭師は見た！～を演出、全国10カ所で上演。16年1月～4月NODA・MAP最新作、『逆鱗』を上演予定。

名和晃平 KOHEI NAWA <http://www.kohei-nawa.net/>

なわ・こうへい 1975年大阪生まれ。2003年 京都市立芸術大学大学院博士課程修了。98年 英国王立美術院交換留学。現在、京都造形芸術大学大学院教授。11年 東京都現代美術館で個展『名和晃平 - シンセシス』、13年 犬島「家プロジェクト」で建築家・妹島和世と協働。同年あいちトリエンナーレに新作『Form』出展。15年 SCAI THE BATHHOUSEの個展にて最新作『Force』発表。09年 京都伏見区にクリエイティブプラットフォーム「SANDWICH」設立。自身の作品制作からauデザインプロジェクト「iida」、ミュージシャンゆずのPVやステージセット、COMME des GARÇONSとのコラボレーションまでプロジェクトは多岐に亘る。NYメトロポリタン美術館ほか所蔵数多数。

東京キャラバンとは

野田秀樹氏の発案により、東京をはじめ日本の多種多様な芸術が集う文化発信の新しいムーブメントです。野田とともに、彫刻家・名和晃平氏、現代美術家・日比野克彦氏の呼びかけにより賛同する様々なアーティストが参加し、2016年夏、五輪開催中のリオデジャネイロを出発点として、東京キャラバン隊が国内外各地に出現し、「文化大サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を、継続的に図っていきます。今年度は、五輪文化プログラムに先駆けて実施する「リーディング・プロジェクト」の一環として、パフォーマンスの制作過程を一般公開します。詳細は <https://www.artscouncil-tokyo.jp/> をご覧ください。

主催：東京都 共催：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

NODA・MAP 第20回公演 「逆鱗」

2016年1月29日(金)～3月13日(日) プレイハウス

「人魚は、ひとつの『逆鱗』を食べる」



作・演出 野田秀樹

出演：松たか子 瑛太 井上真央 阿部サダヲ

池田成志 満島真之介 銀粉蝶 野田秀樹

料金【全席指定】S：9,800円/A：7,800円/サイドシート：5,500円※

※25歳以下の方は、東京芸術劇場ボックスオフィスでのみ、サイドシート3,000円にてご購入いただけます。(入場時要証明書)

【お問合せ】NODA・MAP 03-6802-6681

2015年12月12日(土) 一般前売開始

詳細はHPへ www.nodamap.com/
www.geigeki.jp/

企画・製作 NODA・MAP 主催：NODA・MAP 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

地方公演

大阪公演：2016年3月18日(金)～3月27日(日) シアターBRAVA！

北九州公演：2016年3月31日(木)～4月3日(日) 北九州芸術劇場 大ホール



year:2013 photo: Nobutada OMOTE | SANDWICH courtesy of Aichi Triennale 2013

絶えず湧き出る小さな泡(Cell=セル)は生成と消滅を繰り返しながら寄り集まって液面を覆い尽くし、泡の集合体(Foam=フォーム)として、代謝や循環を支える細胞のように有機的な構造を自律的に形成してゆく。



year:2015 photo: Nobutada OMOTE | SANDWICH courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

黒いシリコンオイルが、液状化した彫刻のように個体と液体の特性を曖昧にしながら、重力に従って天地垂直に流れ続け、時間・空間・物質の瞬間の連続のなかに私たちが存在する現実を直感させる。

点から線になり、面になる文化の潮流。

野田 ぼくが育った1960年代から1980年代にかけては、世界的に活発に行き来する文化潮流というものがありました。うろうろ動きまわることって大事なんですよ。今、世界にいるアーティストたちが、点で存在するのではなくて、線になり面になることが必要じゃないかと思うんです。まずは狭い心を捨てる(笑)。

名和 アーティストにとって、1人で工房に籠って、こんこんと湧くアイデアを形にしていく時期も必要だと思うんです。ただ、ずっとその状態では点で終わってしまう。ぼくらのスタジオ(SANDWICH)もこの6年でオープンプラットフォームとして開かれていきました。スタジオ内に見学者を受け入れ、週末になると学生たちが集まって授業の延長の場になっています。半分はブライ

完全主義で、細かなことも数センチ単位まで、すべてコントロールしてました。オレさまの言うことをきいてればいいんだという感じ？(笑)。ある頃から、誰かの判断でズレることがイヤじゃなくなりました。かえっておもしろいことが起こることがあるんですね。ぼくでなく他人が考えたことから、予期しなかった強さや広がり生まれたという体験を何度かしたんです。それで、ちょっとそっち側に傾いてみようかしらと。

名和 (SANDWICH)では、建築チームが特にそういう側面をもっているかもしれませんが。集団の思考ですね。建築も演劇も集団でつくりあげるものですが、演出はすべて野田さんの頭の中にあるわけですね。現場でそれをどうやって共有するんですか？

野田 台本を書いているときには、すでにある程度の形が仕上がっているんだけど、現場ではなかなかその通りにはいきません。まず演出家として、今回は

らの舞台美術のプレゼンテーションが、ただ紙に四角が描いてあるだけだった。最近忙しかったのかな？と(笑)。実はそれは真っ白のアクリルで、そこにタイ人の褐色の身体が映えるという狙いでした。それは、実際ピュアで神聖な印象を与えました。彼らはカーテンコールのお辞儀もまた合掌したりして素敵なもんだから、観客も欺されて拍手がすごかった(笑)。

名和 装置空間としての舞台美術がときには作品全体を動かすこともあるということですね。『東京キャラバン』でも、美術とパフォーマンスが互いに刺激しあうような空間を目指したいと思っています。実現に向けて、引き続きよろしくをお願いします！

モデレーター・文：住吉智恵 写真：渡部孝弘



多様な価値が出会う、刺激的な37日間！

フェスティバル/トーキョー15のテーマは「融解する境界」

国境・世代・ジャンルを超えた国内外の作品を中心に、多彩なプログラムを展開する

新たな可能性を切り拓く、同時代の表現が集結

第8回目となる国際的な舞台芸術祭フェスティバル/トーキョー15が10月31日(土)から12月6日(日)まで開催される。12演目+3企画の主催プログラムは、日本の舞台芸術シーンを牽引する演出家による国境を越えたパートナーシップに基づく共同製作や、演劇と音楽が強く結びついた作品、そして昨年度に引き続き、アジアの「いま」を照射するアーティストを紹介すること、そして東日本大震災の経験を経て生みだされた表現に強く目を向けている。

まず、昨年につづいてオープニングを飾るのが2日間にわたる盛大な祭り『フェスティバルFUKUSHIMA!@池袋西口公園』。大友良英によるオリジナル楽曲「池袋西口音頭」の生演奏のもと、盆踊りの輪が広がり、人々の出会いの場が創出される。

つづいて今年最大の特徵である演劇と音楽が異なる形で不可分なまでに結びついた作品たちは必見だ。シェイクスピアの恋物語を野田秀樹が潤色したSPACの『真夏の夜の夢』は、俳優が演技と演奏の両方を担う祝祭音楽劇。地点と気鋭の3ピースバンド・空間現代はマヤコフスキーの『ミステリヤ・ブッフ』に挑む。そして前代未聞のクリエーションとなるのが、『ゾンビオペラ「死の舞踏」』だ。作曲家の安野太郎が考案した「ゾンビ音楽」(コンピューター制御された指がリコーダーやクラリネットなどの楽器を自動演奏する)を起点としてドラマトウルクの渡邊未帆、美術を担当する危口統之とともに、神に先導され恐怖に踊る「死の舞踏」を描く。安野は「ゾンビやロボットによる表現は、昔から、人間やその社会を映し出す鏡。我々の社会を違う視点から見つ

めることができる」と語る。彼らがゾンビを通して映し出す「いま」の社会、そして「死」。オペラの新たな領域も拓くであろうこの試みは、見逃せない。

ふたつの日韓共同製作作品にも注目したい。岡田利規は、『God Bless Baseball』と題した新作で「野球」というモチーフから、両国の歴史と文化を改めて見つめる。多田淳之介とソン・ギウンの再タッグによる『颱風奇譚 태풍기담』では、下敷きとするシェイクスピアの『テンペスト』に日韓の歴史と文化が重なり、私たちの現在が映し出される。いずれも「アジア諸国と日本との共同製作では、いかに自らの立場を国に置き換えずにアーティストが物を言えるかが重要」とディレクターズコミッティ代表・市村作知雄が語るように、今年のテーマを体現した表現を目撃することになるはずだ。

そして日本初招聘となるスペインのアンジェリカ・リデルの代表作『地上に広がる大空(ウェンディ・シンドローム)』は今年の目玉といえる。アヴィニョン演劇祭をはじめ、大きな話題を集めた本作。「青春の喪失、老いて見捨てられることへの恐怖、母性への憎悪」の3つを描いたと語るリデル自らが演じるウェンディの怒濤のモノローグは、まさしく圧巻。この過激な、美と混沌が共存する舞台は、東京の観客に大きな驚きをもたらすだろう。

また、昨年から開始したアジアシリーズでは、急速な社会の変化と共に新たな表現が生まれつつあるミャンマーを特集する。

国境はもちろん、アートの領域、創る側と観る側の線引きなど、様々な境界を問い直す刺激的な体験を楽しみたい。

(左)『フェスティバルFUKUSHIMA!』昨年の池袋西口公園での盆踊りの様子
(中央)『地上に広がる大空』のワンシーン
(右)『가모메 칼메기』ソン・ギウン×多田淳之介、重演演劇賞受賞

「演劇×ダンス×美術×音楽…に出会う37日間 フェスティバル/トーキョー15」10月31日(土)～12月6日(日) 東京芸術劇場 ほか

10月31日(土)～11月1日(日) 池袋西口公園
「フェスティバルFUKUSHIMA! @ 池袋西口公園」
総合ディレクション:プロジェクトFUKUSHIMA!+山岸清之進

11月21日(土)～23日(月・祝) プレイハウス
「地上に広がる大空(ウェンディ・シンドローム)」
作・演出・美術・衣裳:アンジェリカ・リデル(アトラ・プリス・テアトロ)

チケット | F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00-19:00 定休日あり)
取扱い | 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(10:00-19:00 休館日を除く) ほか

【総合問合せ】フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 Tel. 03-5961-5202 <http://festival-tokyo.jp/>

11月19(木)～22日(日) シアターイースト
ゲー・インスティテュート韓国 × NOLGONG 「Being Faust - Enter Mephisto」
構成:ピーター・リー

11月26(木)～29日(日) シアターイースト
富士見市民文化会館 キラリふじみ 「颱風奇譚 태풍기담」
作:ソン・ギウン 演出:多田淳之介 ほか 多数ラインアップ

9月27日(日) 10:00より
一般発売開始

同時開催

アジア舞台芸術祭2015
11/13(金)～15(日)シアターイースト ほか
プロデューサー:宮城 聡
【お問合せ】東京都生活文化局文化振興部
企画調整課アジア舞台芸術祭担当
Tel. 03-5388-3150
www.butai.asia/j/

入場
無料

INFORMATION

鑑賞サポート | 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

10～12月 対象公演 | 「ランチャタイム・パイプオルガンコンサート vol.114」(11月5日) ※公演説明会実施
「書を捨てて町へ出よう」 【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

新規ショップのご案内 |

10月より天然酵母酒種パン「峰屋」がオープン致します。
営業時間10:00～19:00(予定)

日本の建物・施設を美しく、快適に――。

【NCS Network】

【北海道】	札幌 / 稚内 / 帯広
【東北】	仙台 / 福島
【関東甲信越】	宇都宮 / 古河 / 高崎 / 甲府
【首都圏】	東京(23区・三多摩) / 横浜 / 千葉 / 埼玉 / 熊谷
【東海中部】	小田原 / 二島 / 富士 / 静岡 / 名古屋 / 三重
【関西】	大阪 / 泉南 / 神戸 / 京都 / 奈良 / 和歌山
【中国四国】	岡山 / 広島 / 高松
【九州沖縄】	福岡 / 長崎 / 沖縄

NCS 日東ナスト デザイン・サービス株式会社
<http://www.nitto-cs.jp/>

平成 28 年度
一般入試
願書受付開始
11月1日～

専門学校
舞台芸術学院
〒171-0021
東京都豊島区西池袋3-5-19
お問い合わせ
☎ 03-3986-3261

東京芸術劇場 楽屋口から徒歩3分

<http://www.bugei.ac.jp>